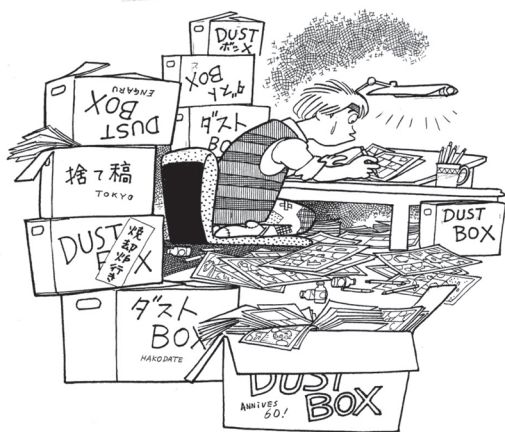


小沢さとる 50年の ダストBOX

ボックス



正座である
五十年
いや、間もなく六十年だ！
ズツと正座だ、
正座のまま
ダストBOXを積み上げて来た…

小沢さとるの 夢のダストBOX

――捨て稿から生まれる何か――

描いては捨てる、描いては又捨てる、それがボクの生来の習性だ。

描いた枚数のうち作品として日の目を見る頁は描き捨てた枚数の100分の1にもならない。

ボクの机上は何時でも原稿の制作場であることは終生変りはない。

5年前不要な原稿を焼却場に運んだ。軽トラ3台分の捨て描き画稿はまさにボクの55年分の垢だった。

それでも未だダンボールの底にしがみ着いてボクの身边に居残っている原稿がある。名工正宗は打っては捨て、打っては捨てた百振りの中から一本の名刀を世に送り出したと聞く。だがボクは殆ど寿命を食い尽くした今になっても名作をものにしていない。

特別収録などとしてこの未発表原稿をおまけに付けた本書を購読した諸兄はさぞかし腹立たしいことだろうと思うが無理もない。

だが、しかし、余命幾許もないボクだが、やがて発酵した原稿が“名作”を生み出してくれると信じている。きつと、訪れるだろうその日を信じて僕は未だ大望を捨ててはいない。それがボクの夢のダストBOX“だ！”

“ボタ山”に一粒のダイヤを夢見て、今日もせっせと原稿に精を出すボクはマンガ採炭夫だったかな、近頃そんな思いがする。

御購読諸兄とパンローリングに感謝





小沢さとる
1×1の
ガストボックス

『新サブマリン707』
設定集

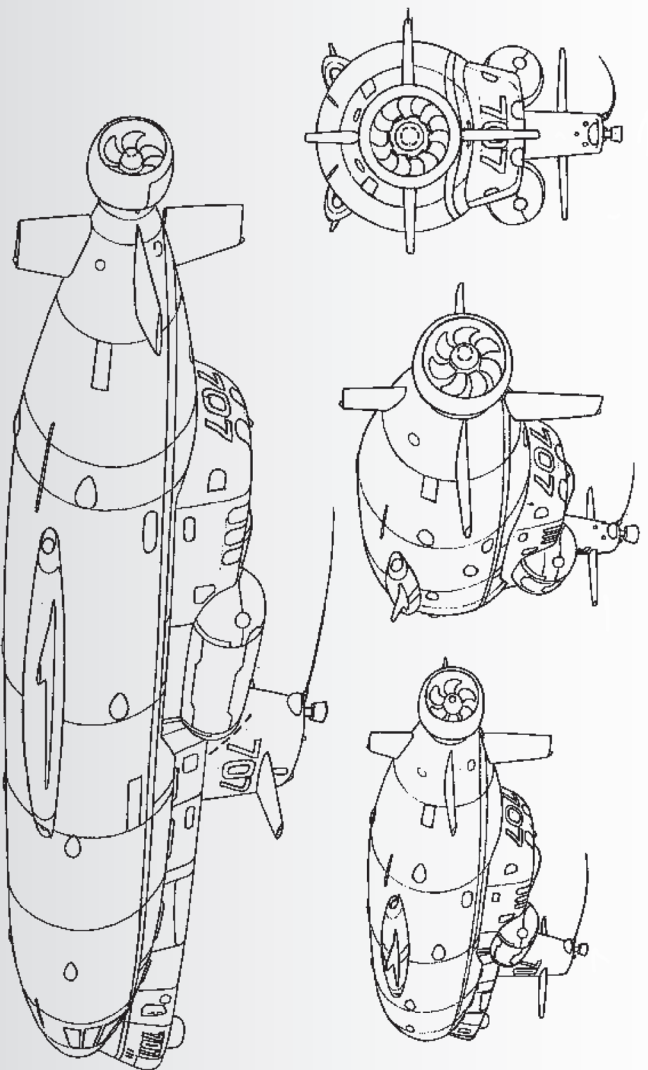
INDEX

- 5 ◎新サブマリン707 設定集
- 24 ◎サブマリン707 スケッチ画
- 27 ◎サブマリン707 バトルリング
- 40 ◎潜水艦どんがめ一家 サブマリン707 深海2万3000年の航海
- 169 ◎深海2万3000年の航海 【ゾーンダイク編】
- 196 ◎青の6号 AO6 ボールペンラフ
- 218 ◎レッドアクロス
- 228 ◎ニューダッチ ロボダッチ

小沢さとる
1×1の
ガストボックス

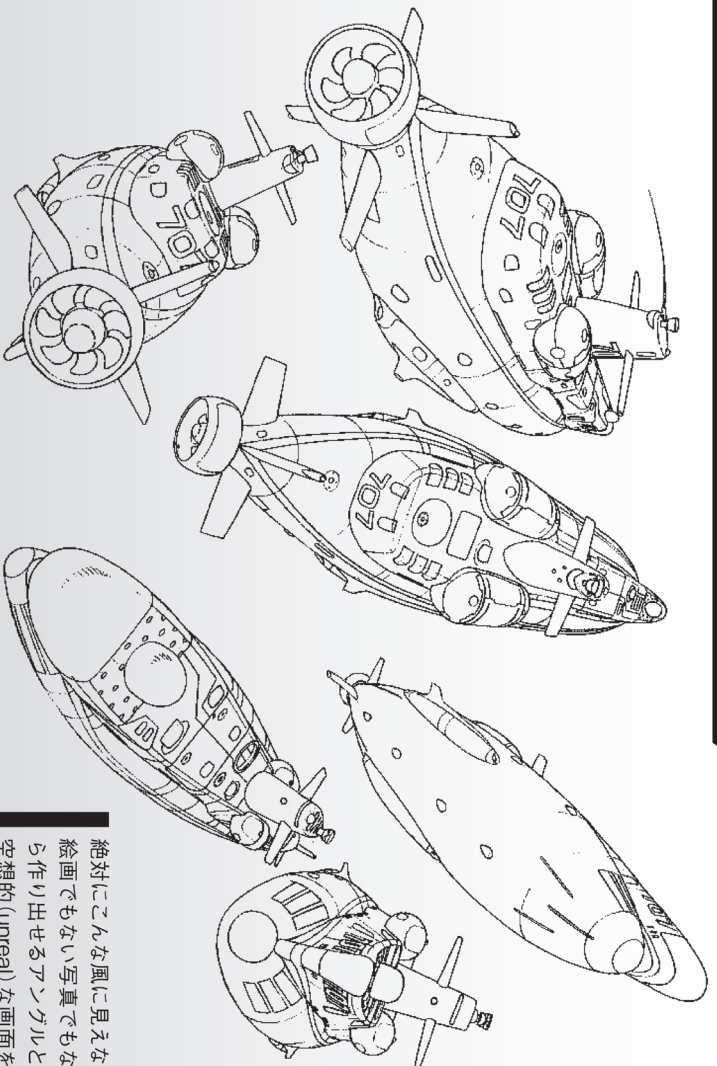
※深海2万3000年の航海【ゾーンダイク編】は本編の途中で分岐している別バージョンのストーリーです。

新サブラリン707・ボンガメ概要図⑤



もう一度、紙上に夢と動きのある画面を描き出すために...

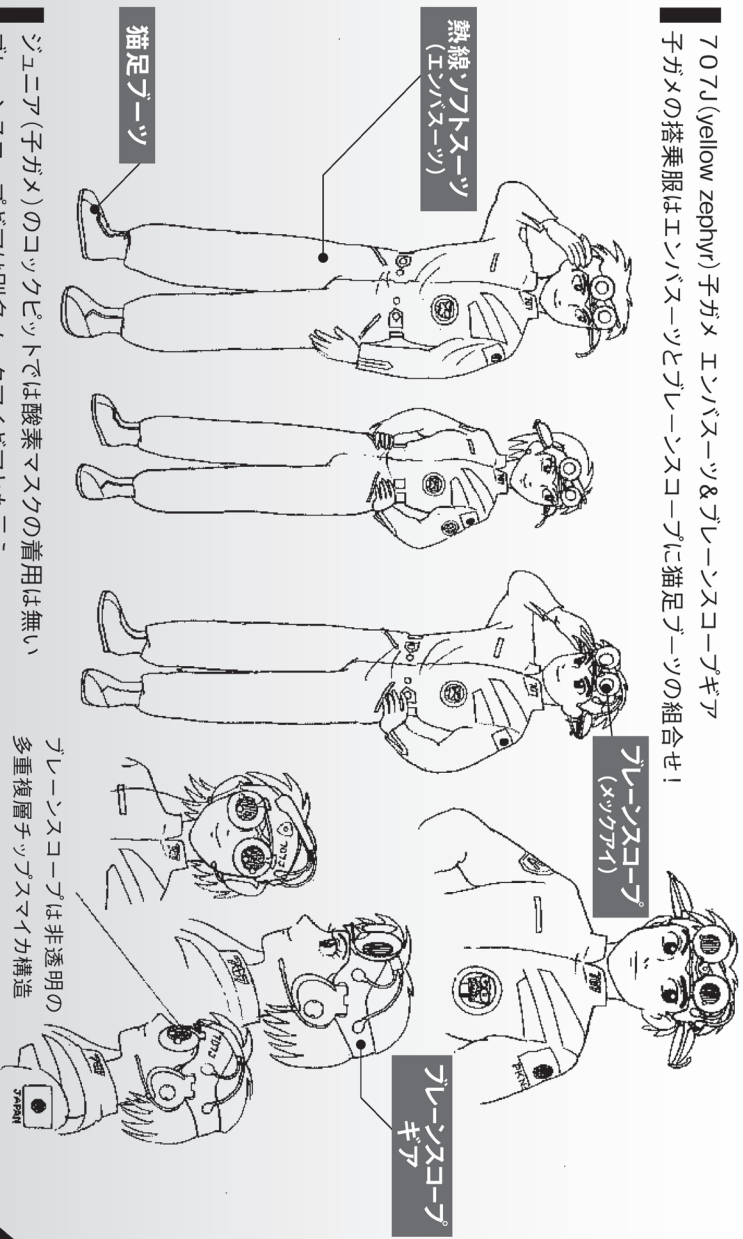
新サブラリン707・ボンガメ概要図⑥



絶対にこんな風に見えない形！
絵画でもない写真でもないマンガだから作り出せるアンリアルとデフォルメが空想的 (unreal) な画面を生む。

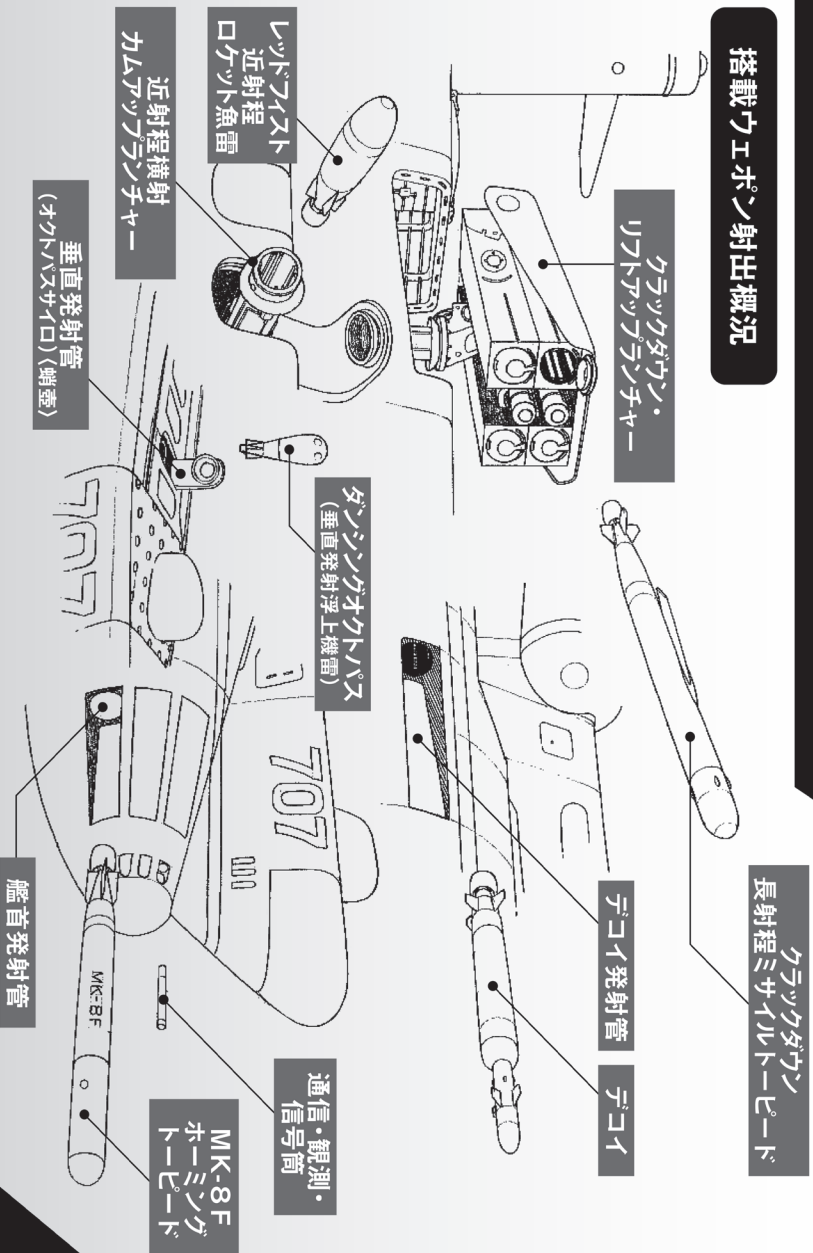
新サブマリン707・ボンガム概要図⑦

707J(yellow zephyr)子ガム エンバースーツ&ブレーンスコープギア
子ガムの搭乗服はエンバースーツとブレーンスコープに猫足ブーツの組合せ!



新サブマリン707概要図①

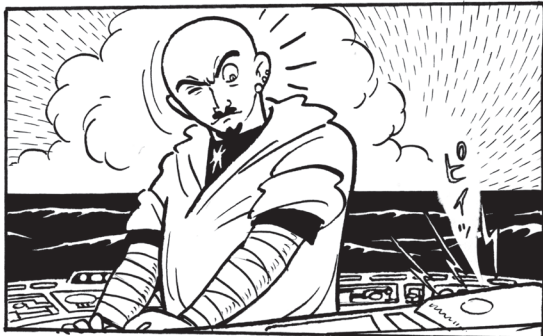
搭載ウエポン射出概況





ここに
キミたちUNと
我らUSRの
総力を結集する

地球の支配者を
決定する一大
バトル



完膚無き
までの決戦
だ!

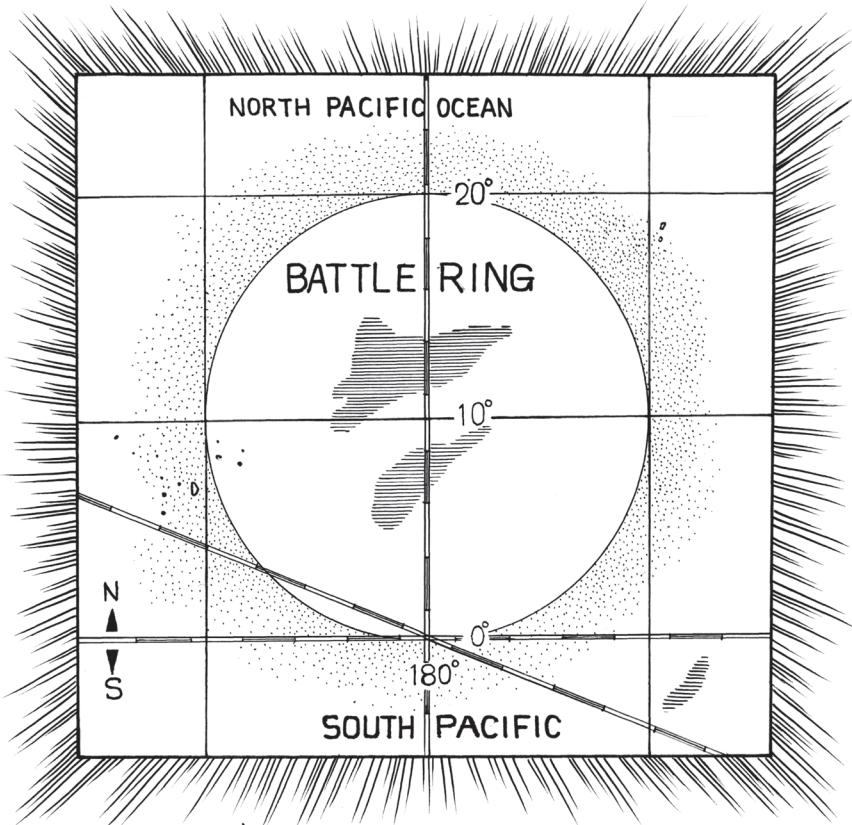


きたか
さすがに
早いな!

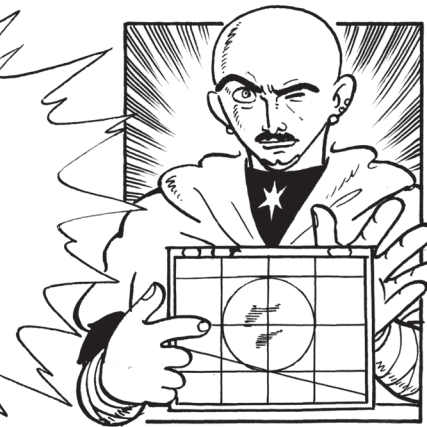


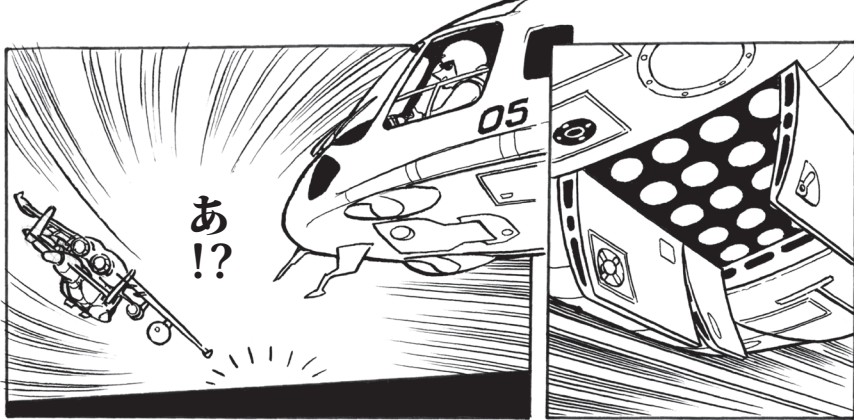
平成十一年七月二十四日

おまの

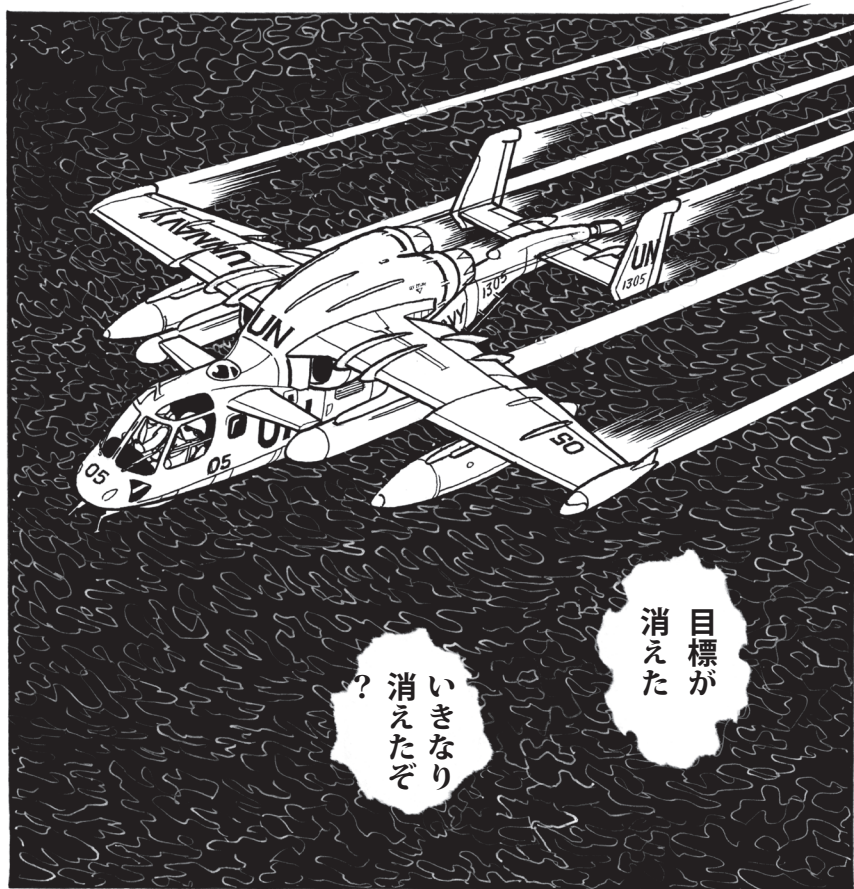


北太平洋の
日付変更線が
北緯十度で交わる
海域を中心とする
半径一〇〇〇キロの
円内をバトル・
リングとする



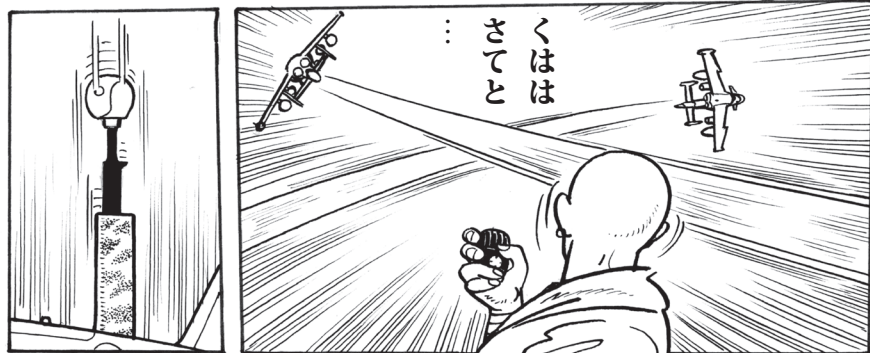
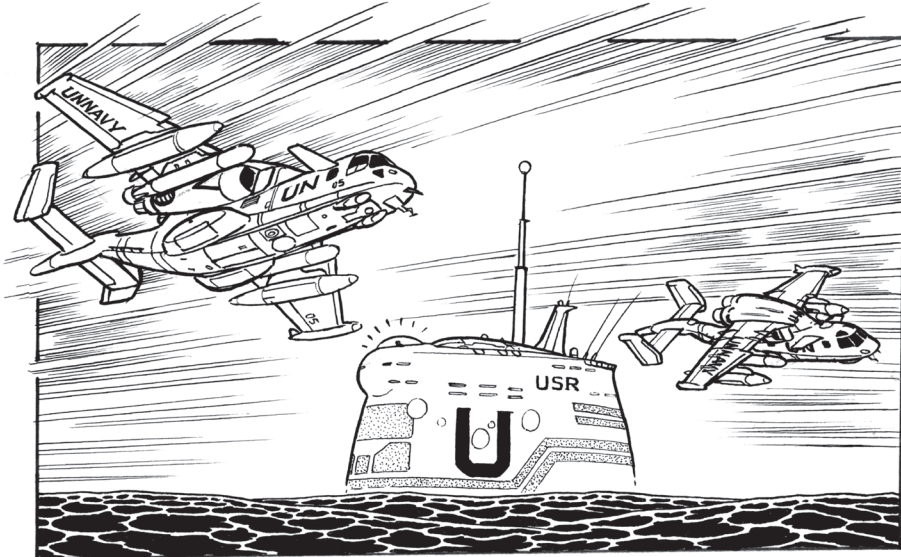


あ!?



目標が
消えた

いきなり
消えたぞ
?



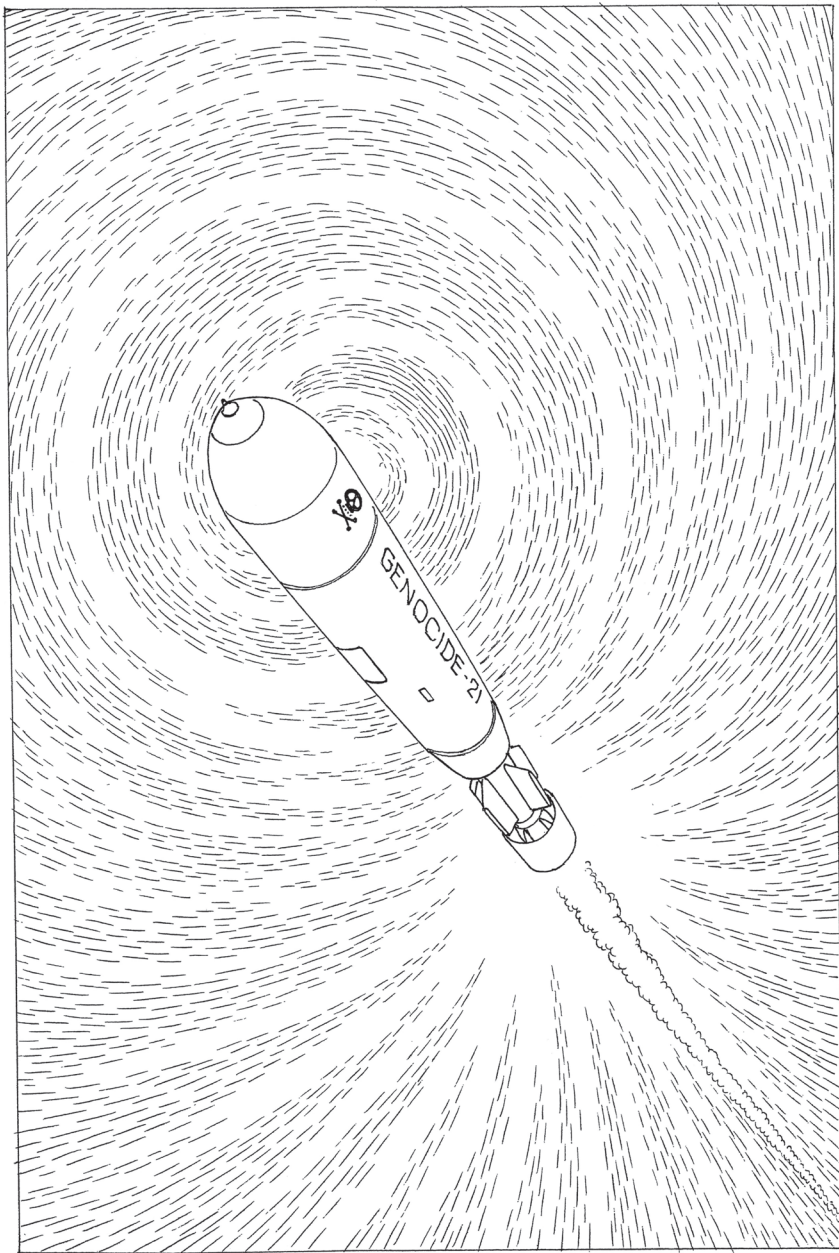
くはは
さつと
...



2号機
見たか
おうさ
的はデカイ
一撃必殺
外れはなし
だ!

平成二十二年七月二十四日

あ



第一章

ライオールブルクへの航海
インガルーシの要塞

通告

全世界国家元首及び首脳各位へ
我深海帝国Uは我帝国の存在と持てる力を示唆し
知らしめるために以下のアクションの実行を予告して通告する。
我U帝国海中軍は現在太平洋を潜行遊弋しつつあるロシア海軍潜水艦
「ピエールブイ」を撃沈する。
実行は、西暦2014年9月11日午前9時(グリニッチ標準時)とする。
これを予告し重ねて通告する。

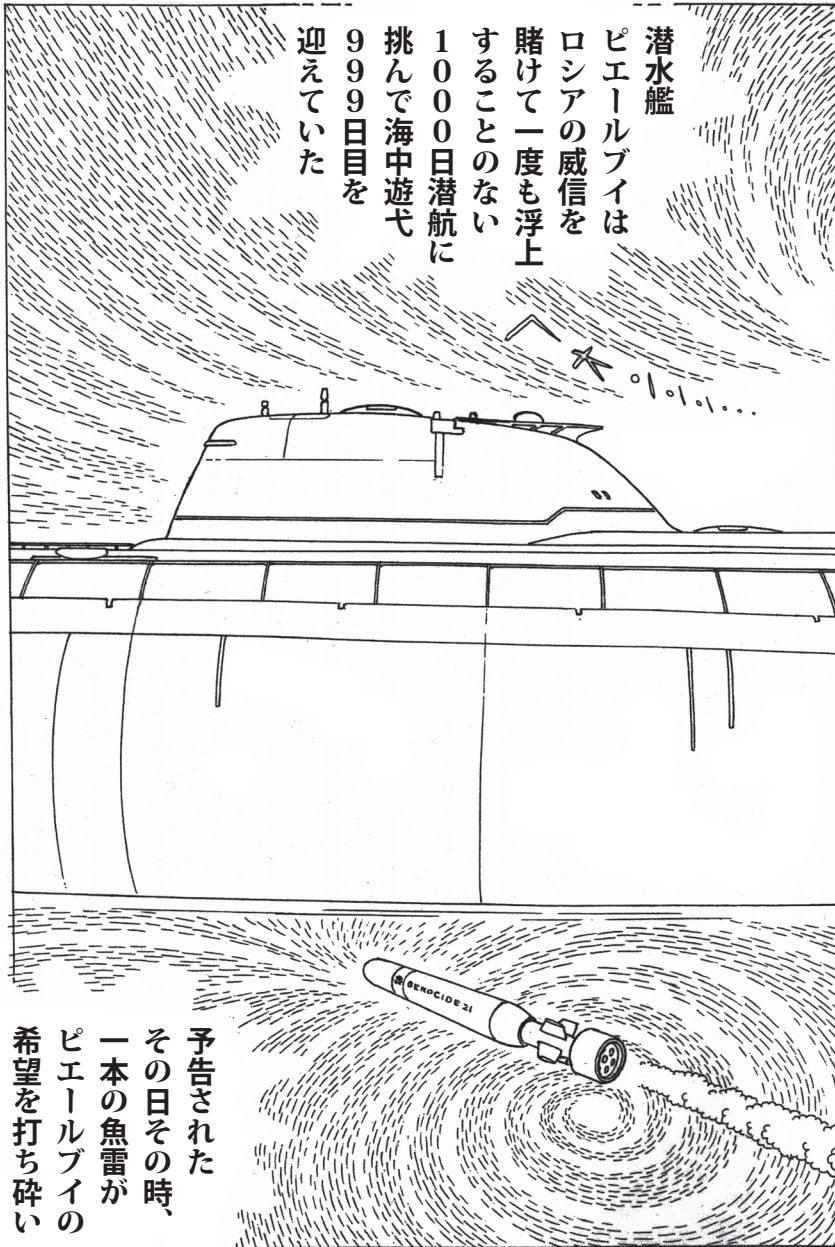
西暦2014年9月14日 04:00/pm

深海帝国U総統

ナラク・U・レッド

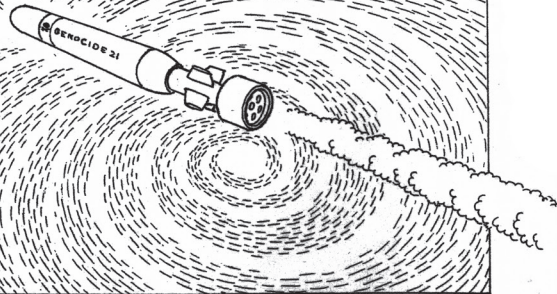


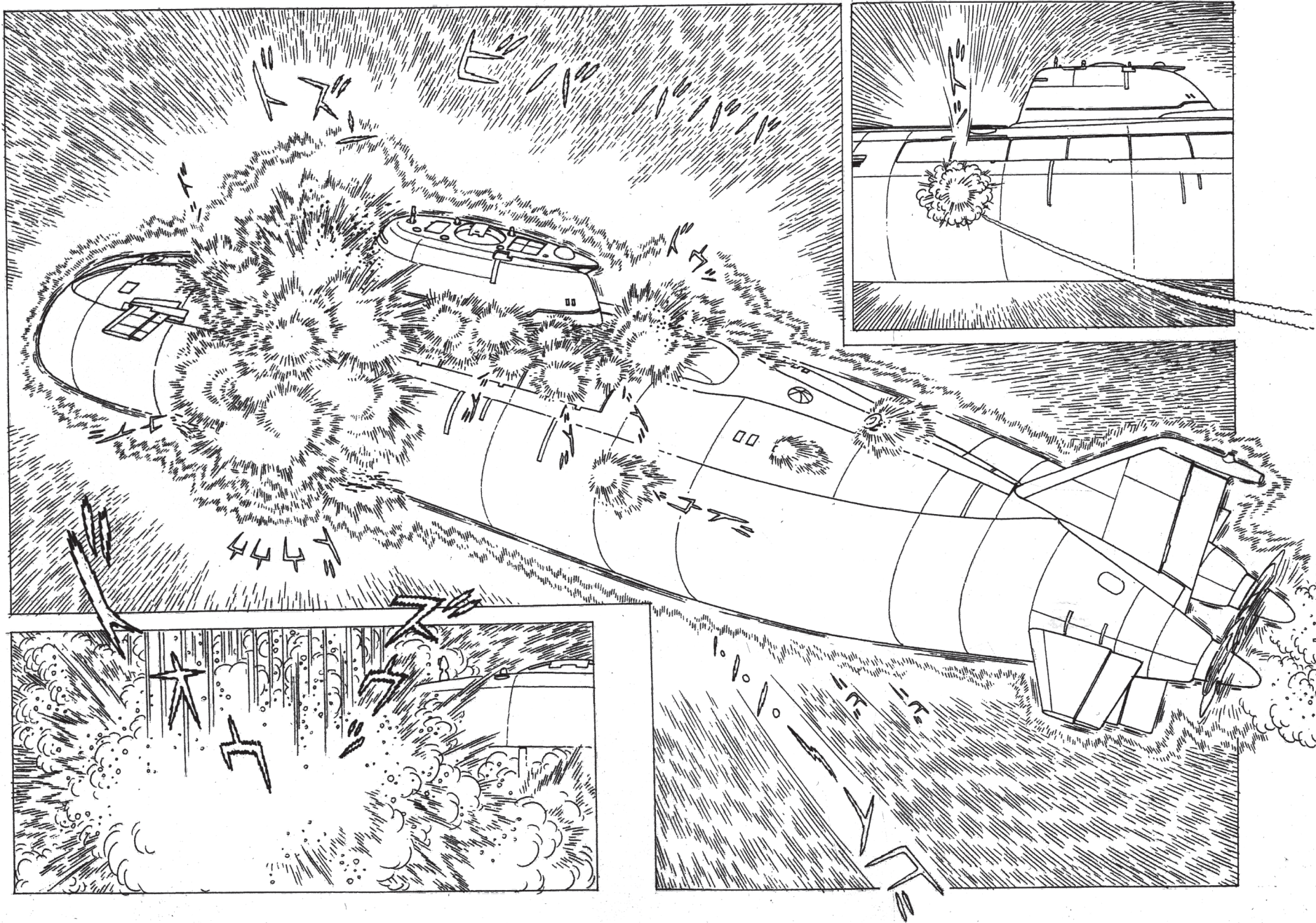
全世界の首脳の
端末ホットライ
ンに送信された
奇妙なメールで
ある



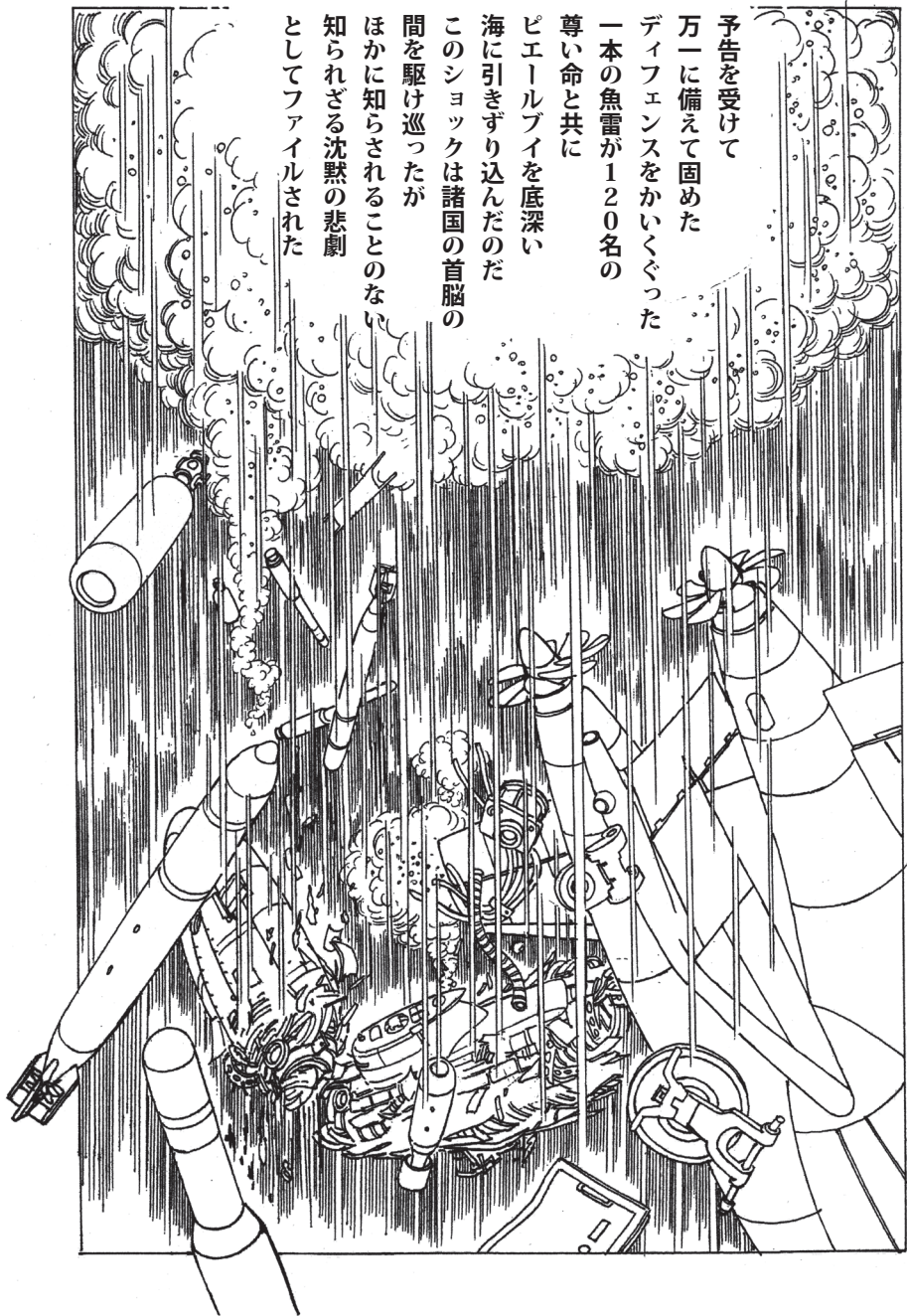
潜水艦
ピエールブイは
ロシアの威信を
賭けて一度も浮上
することのない
1000日潜航に
挑んで海中遊弋
999日目を
迎えていた

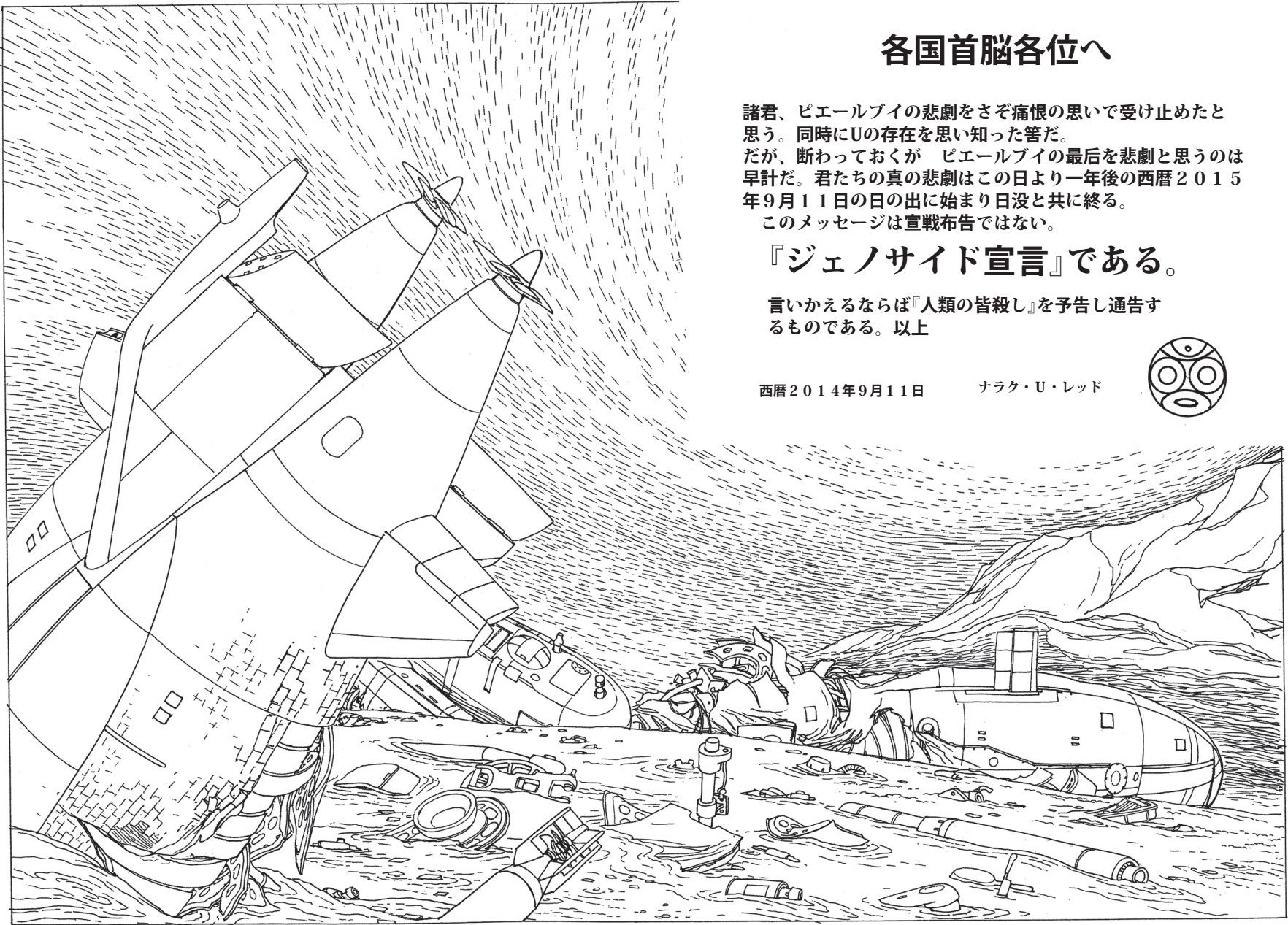
予告された
その日その時、
一本の魚雷が
ピエールブイの
希望を打ち砕い
た





予告を受けて
万一に備えて固めた
ディフェンスをかくぐつた
一本の魚雷が120名の
尊い命と共に
ピエールブイを底深い
海に引きずり込んだのだ
このショックは諸国の首脳
間を駆け巡ったが
ほかに知らされることのない
知られざる沈黙の悲劇
としてファイルされた





各国首脳各位へ

諸君、ピエールブイの悲劇をさぞ痛恨の思いで受け止めたと思う。同時にUの存在を思い知った筈だ。だが、断わっておくが ピエールブイの最後を悲劇と思うのは早計だ。君たちの真の悲劇はこの日より一年後の西暦2015年9月11日の日の出に始まり日没と共に終る。このメッセージは宣戦布告ではない。

『ジェノサイド宣言』である。

言いかえるならば『人類の皆殺し』を予告し通告するものである。以上

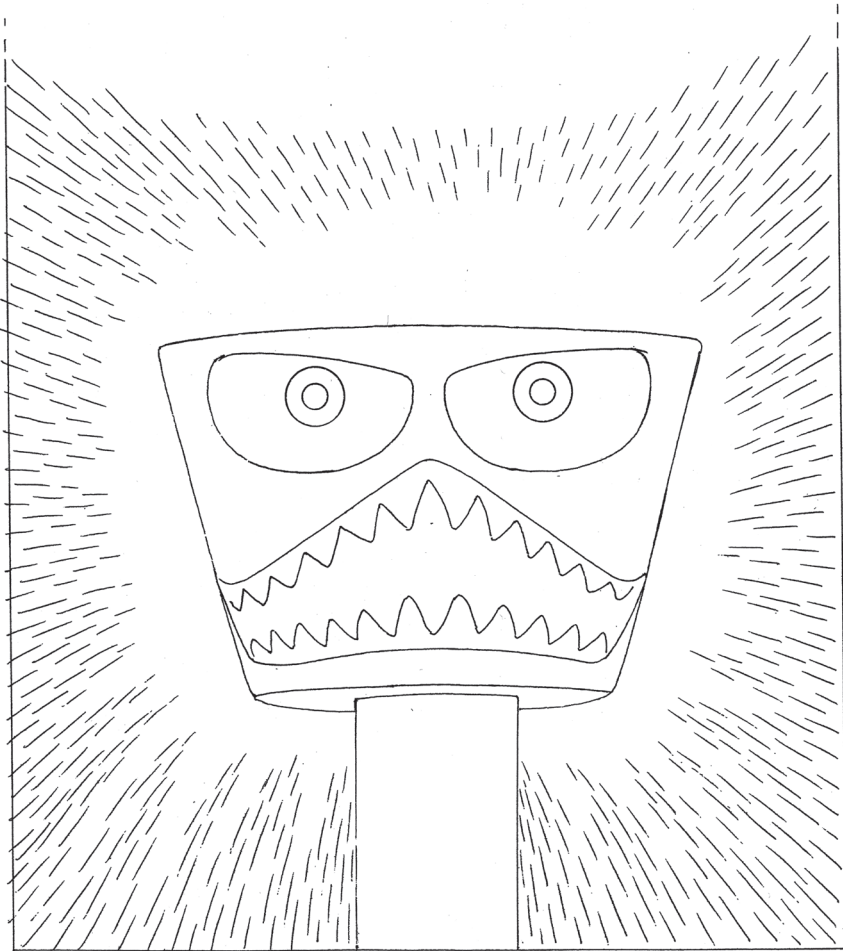
西暦2014年9月11日

ナラク・U・レッド

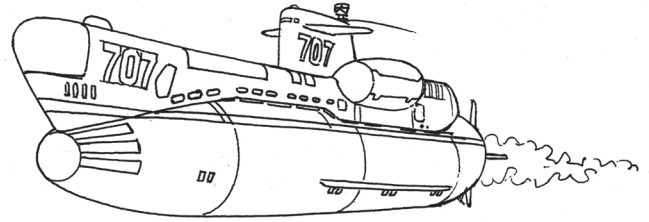


第一章

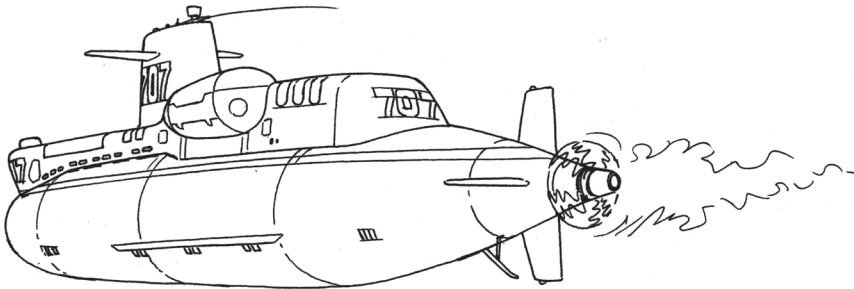
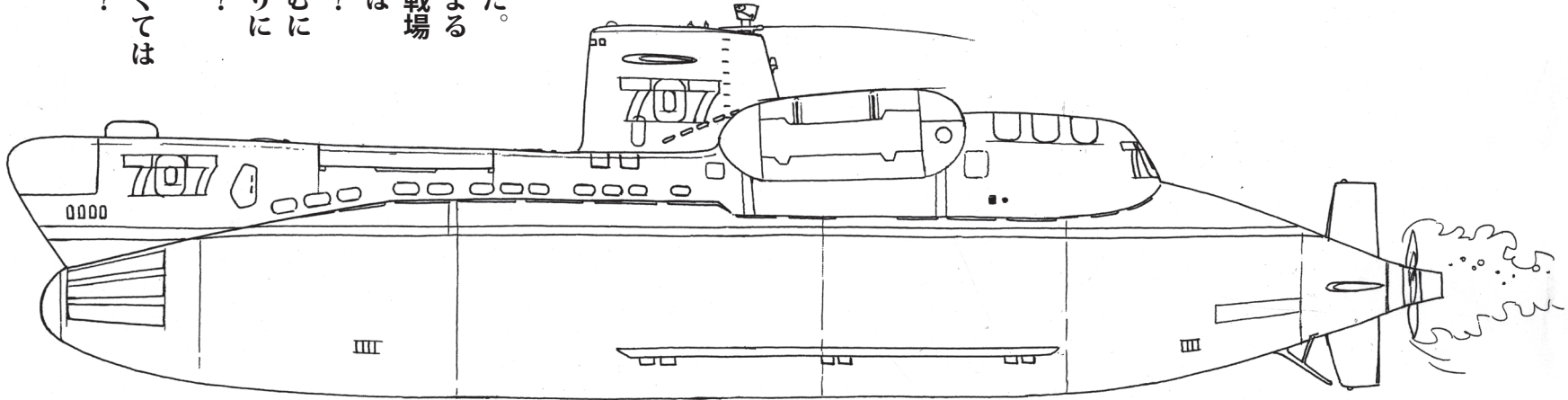
生まれかわってドンガメ



これは生れかわった「ドンガメ」の
新たななる戦いの物語だ。
人類の生存の危機に再び深海の戦いに
挑む707ドンガメ！
PDS(平和防衛潜水艦部隊)に一翼を
担ってDEPT H WARSの知られざる
沈黙の戦場に旅立つドンガメは死線を越
えて死のダイブに果敢に挑んで行く。
そこには牙を研いで蘇った凶悪な
Uが立ちほだかる。

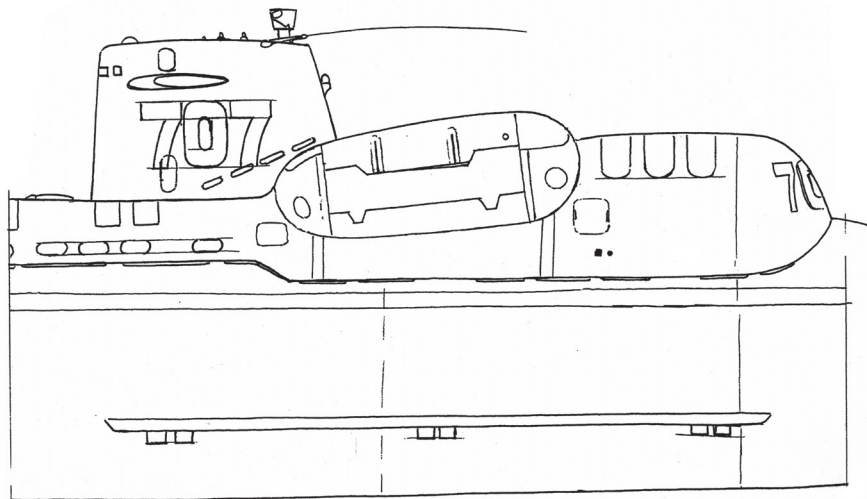
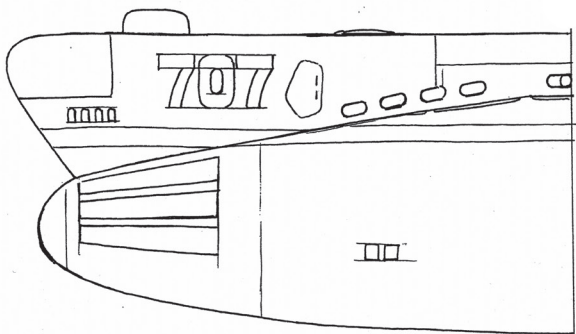


その707に
再び戦いの時が訪れた。
年老いたドンガメがまる
で人身御供のように戦場
に駆り立てられるのは
いったいなぜなのか？
新たな潜水艦戦に挑むに
は余りにも旧く、余りに
も非力ではないのか？
果して…
なぜドンガメではなくては
ならないのだろうか？



ドンガメは鈍亀だ。
ノロノロと動くカメだ。
かつて、ドンガメと呼ば
れながら強大な秘密組織
「U結社」の潜水艦隊に
敢然と立ち向って海中戦
を戦い抜いた潜水艦
707のことを記憶に止
めている人が果たしてどれ
だけいるだろうか？

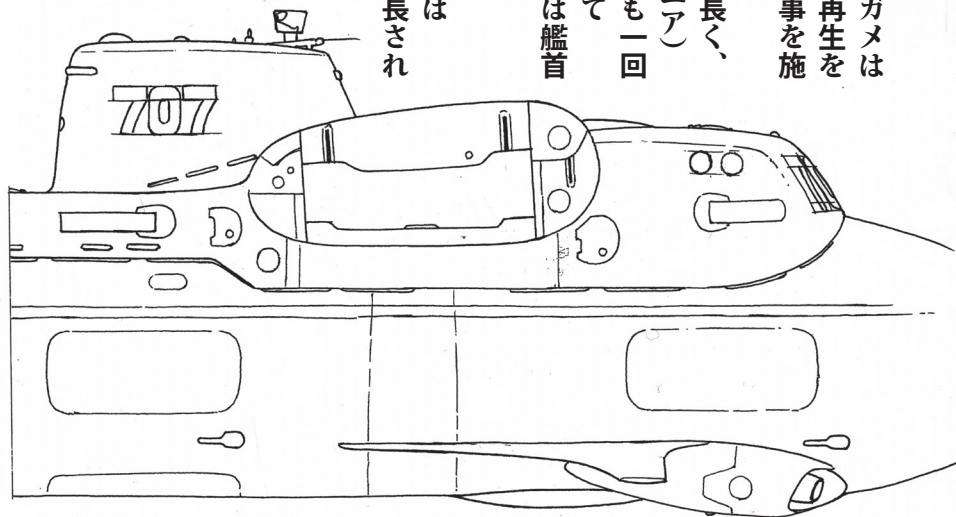
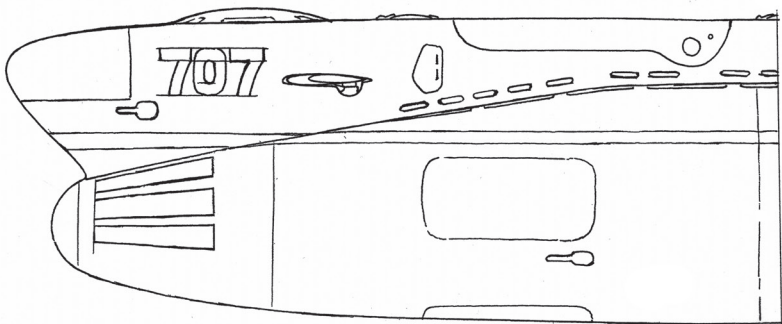
(改装前のドンガメ)
 排水量 3300t(水中)
 全長 97M
 最大幅 8M

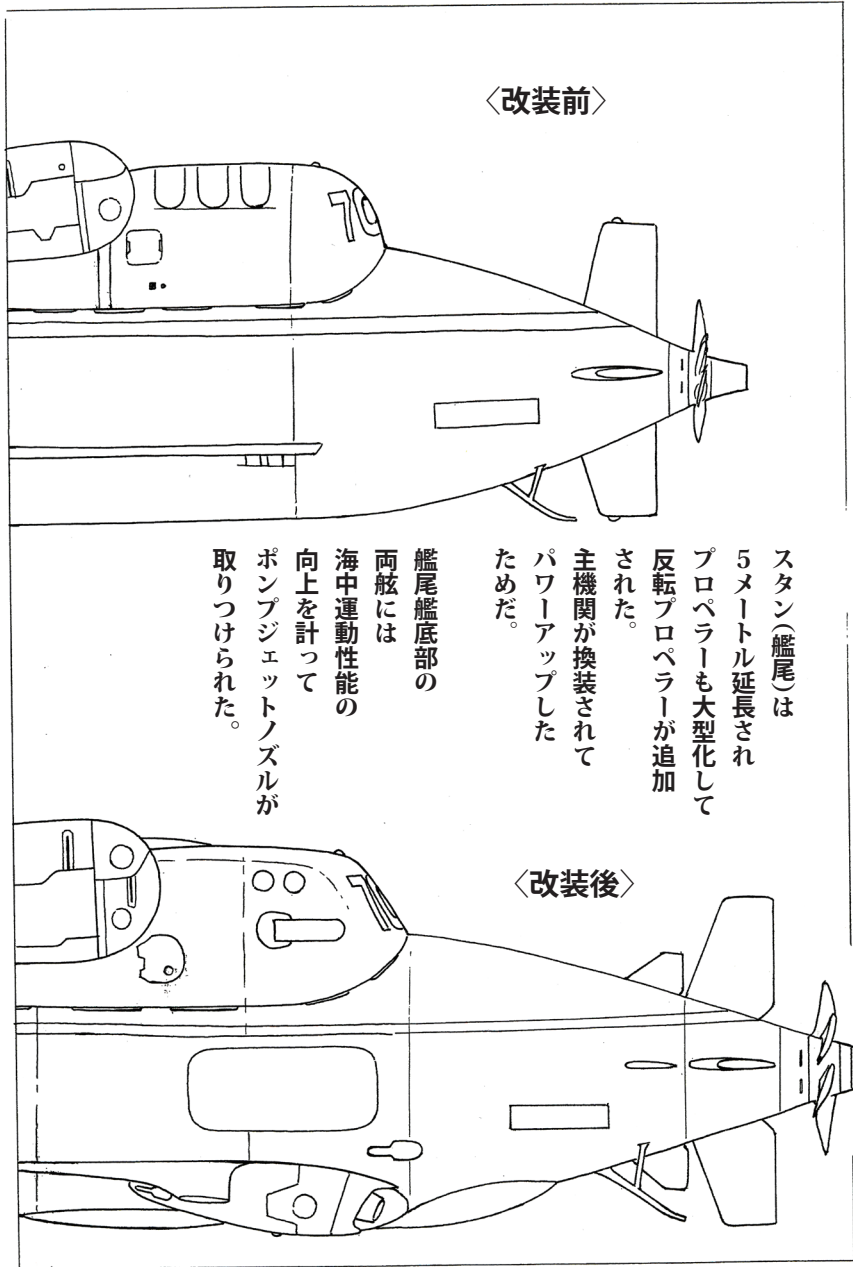


(改装後のドンガメ)
 排水量 3900t(水中)
 全長 108M
 最大幅 9M

低く押えられた艦前
 がドンガメのイメー
 ジを残しながらも精
 悍なフォルムに変身
 した…

それでもドンガメは
 戦いに備えて再生を
 計る近代化工事を施
 されて、
 セイルは低く長く、
 子ガメ(ジュニア)
 の搭載ハンガも一回
 り大型になって
 セイルフィンも艦首
 に移された。
 その艦首部分は
 6メートル延長され
 て…

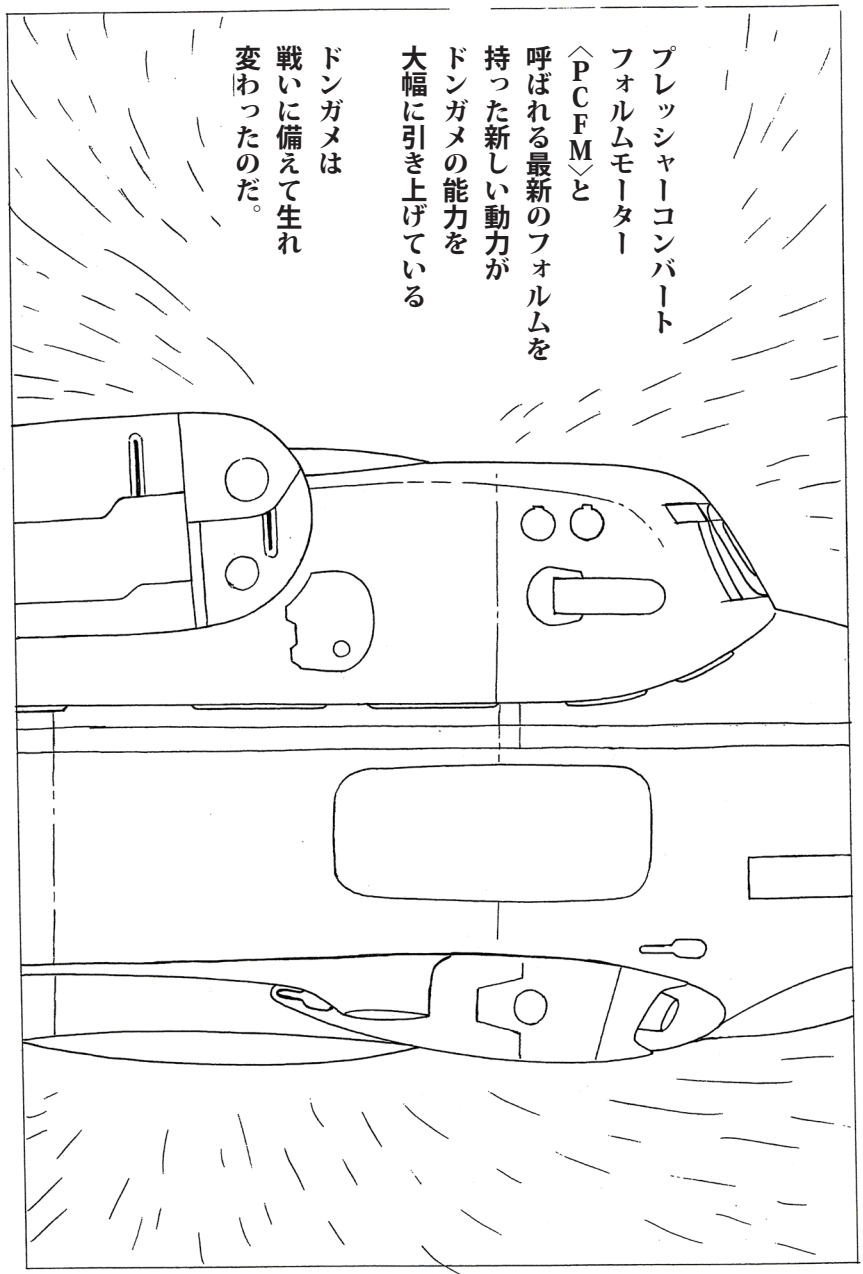




〈改装前〉

スタン(艦尾)は
5メートル延長され
プロペラーも大型化して
反転プロペラーが追加
された。
主機関が換装されて
パワーアップした
ためだ。
艦尾艦底部の
両舷には
海中運動性能の
向上を計って
ポンプジェットノズルが
取りつけられた。

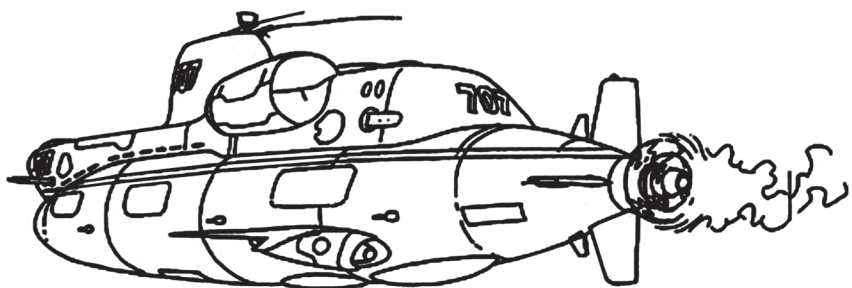
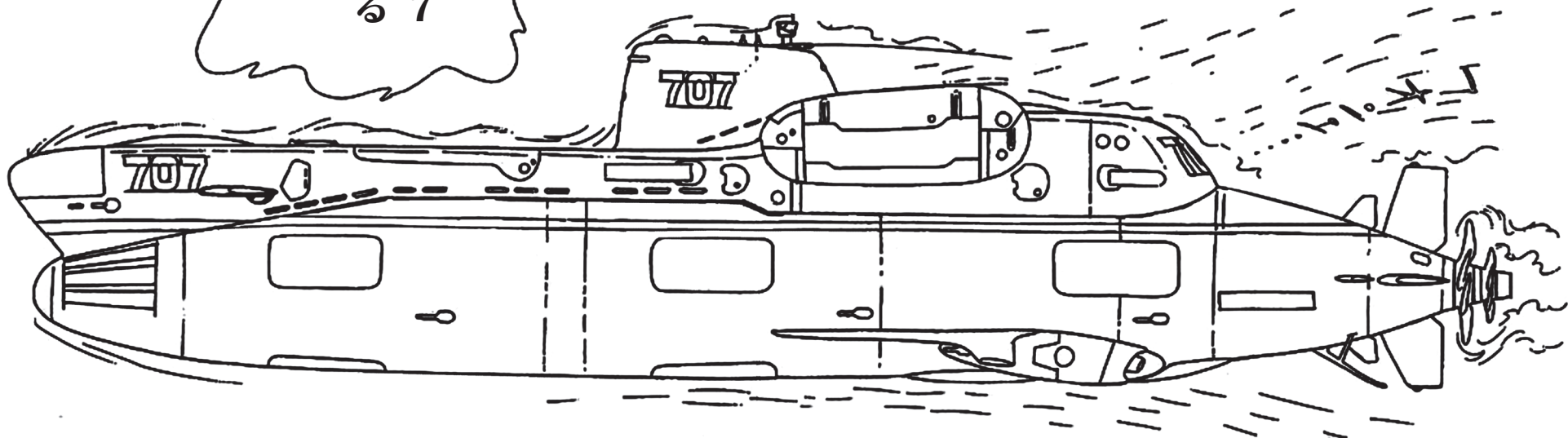
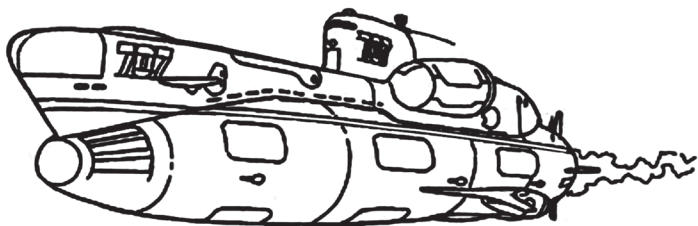
〈改装後〉



プレッシャーコンバート
フォルムモーター
〈PCFM〉と
呼ばれる最新のフォルムを
持った新しい動力が
ドンガメの能力を
大幅に引き上げている

ドンガメは
戦いに備えて生れ
変わったのだ。

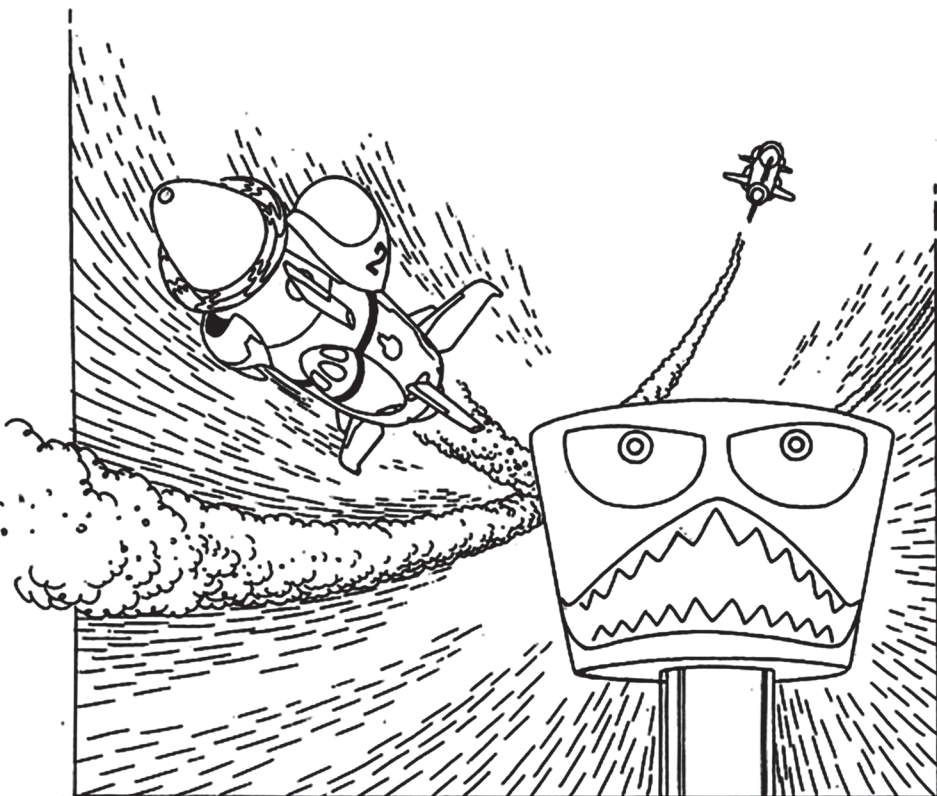
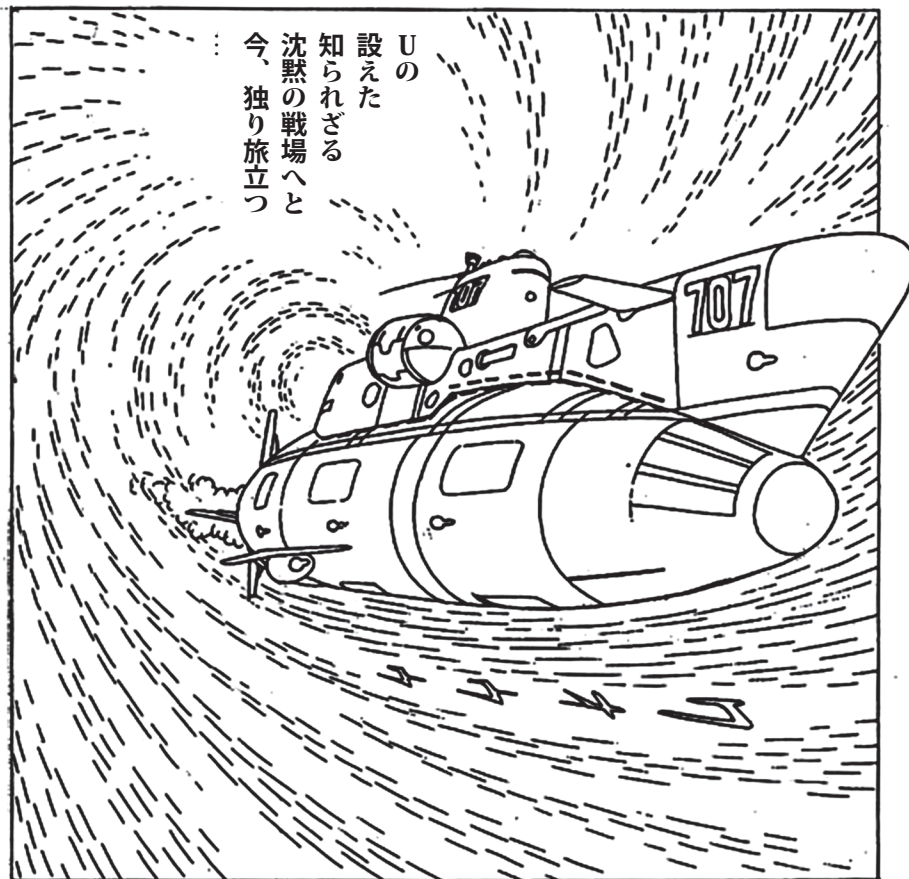
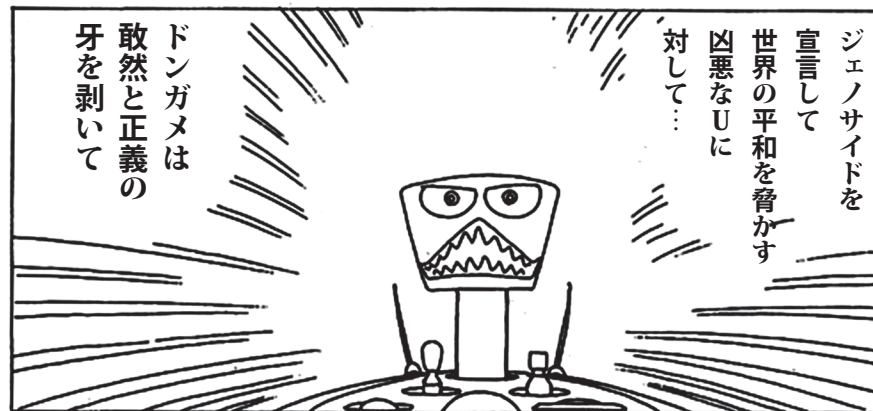
その答は
これから707
が赴く新たな
沈黙の戦場に
ある

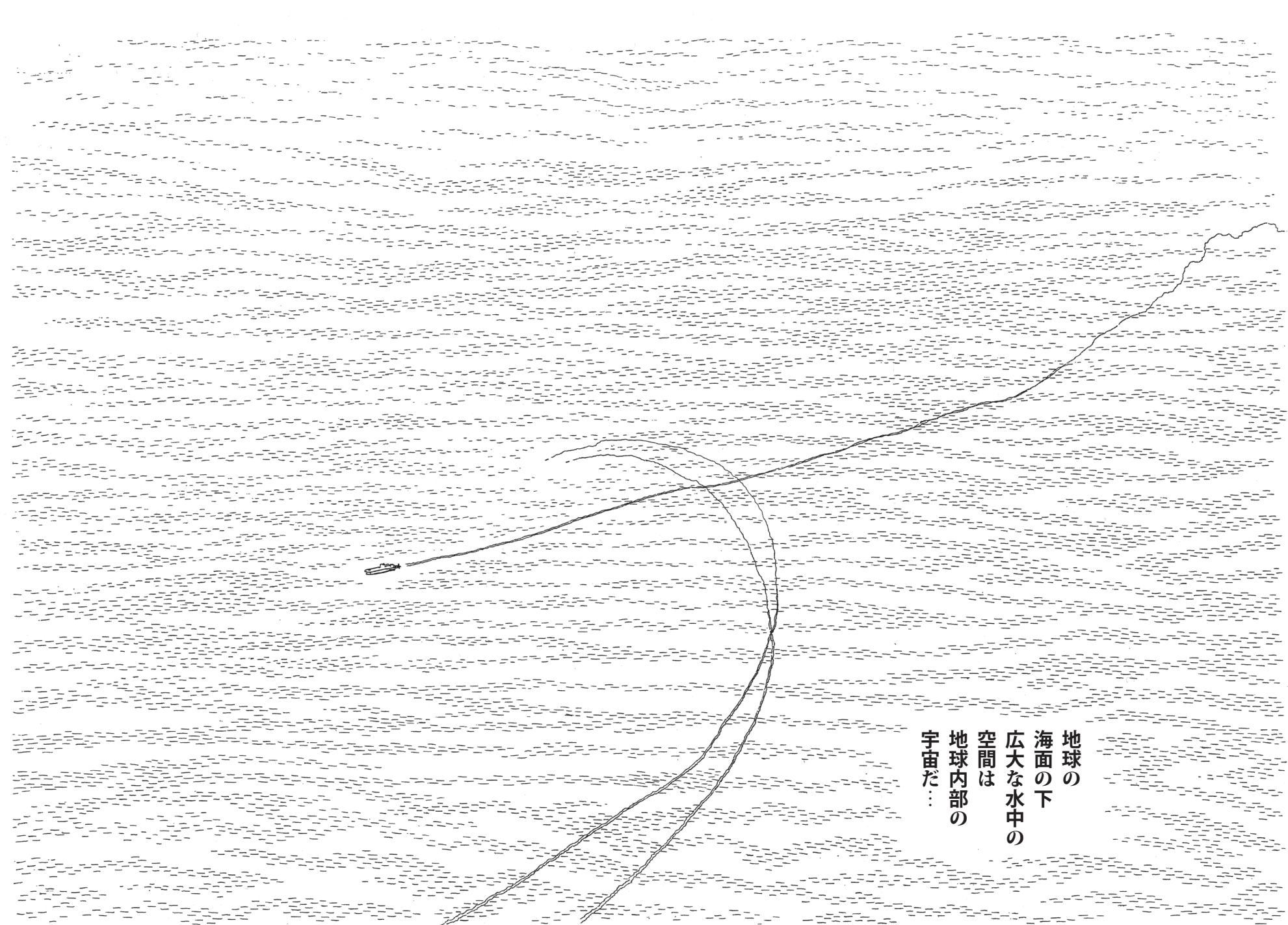


果して、ドンガメは
これで強い鉄の鯨に
変身することができ
たのか？あるいは
やっぱりドンガメは
鈍亀なのか？

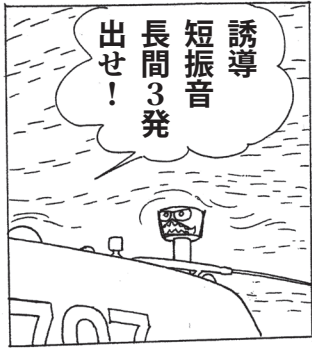
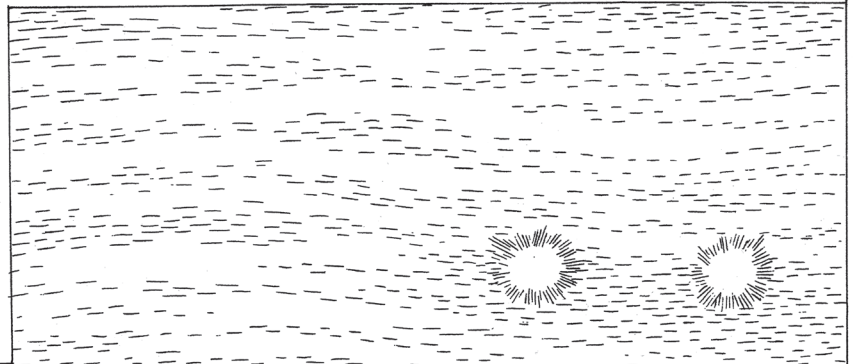
第2章

子ガメ・ドンガメ着艦作業

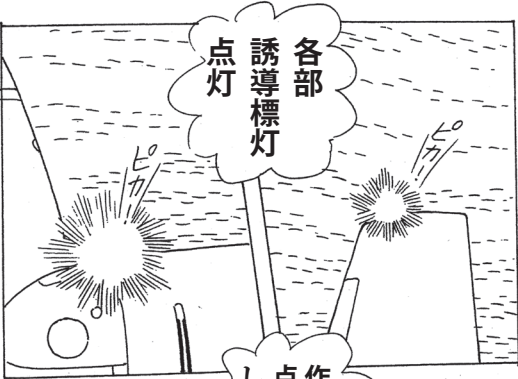




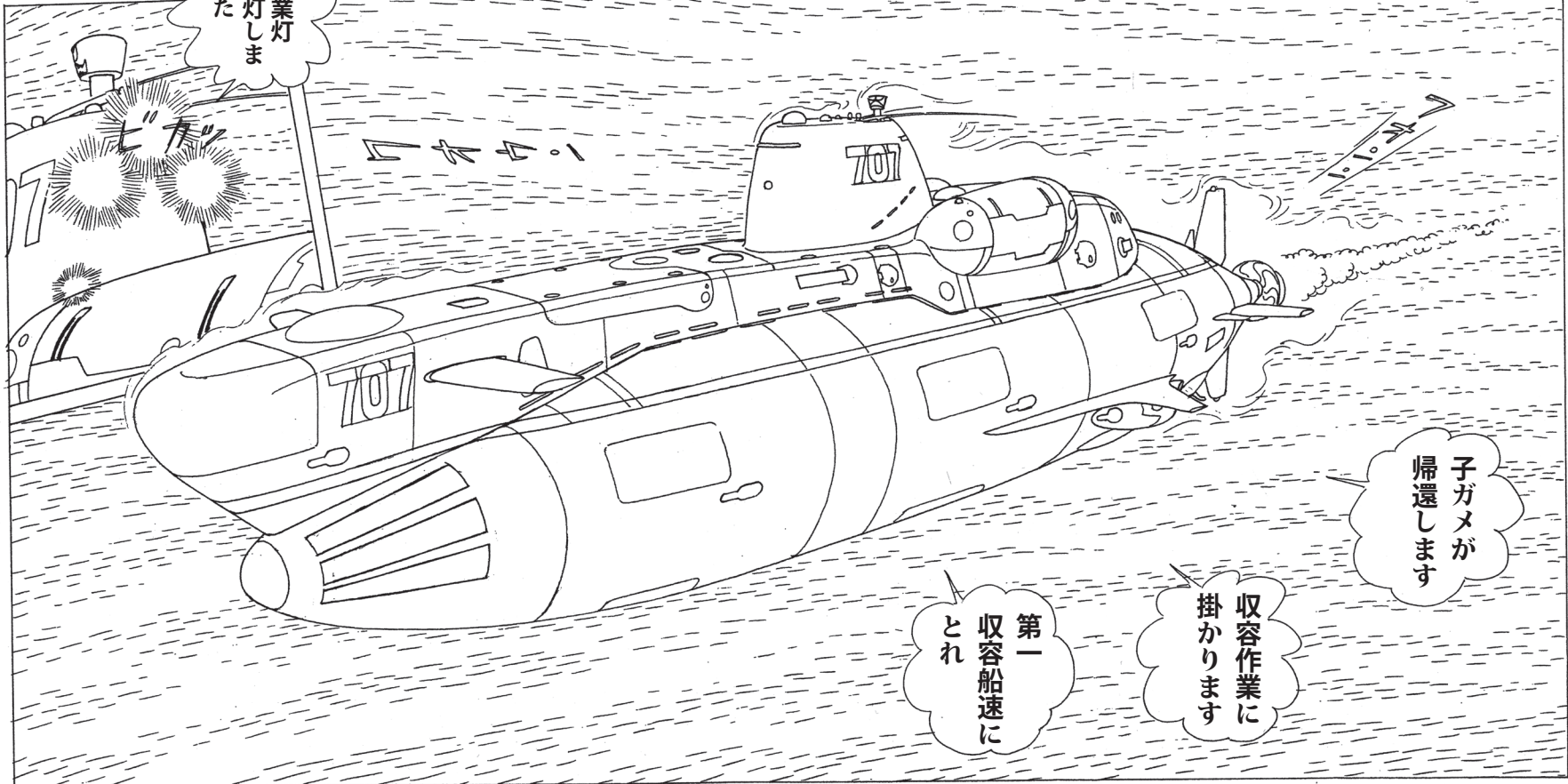
地球の
海面の下
広大な水中の
空間は
地球内部の
宇宙だ……



誘導
短振音
長間3発
出せ!



各部
誘導標灯
点灯

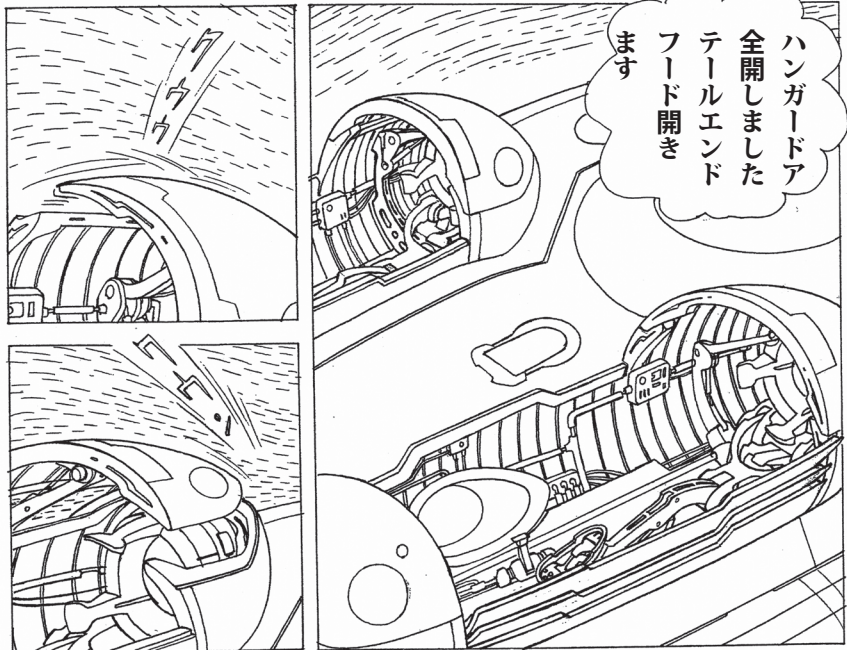


作業灯
点灯しま
した

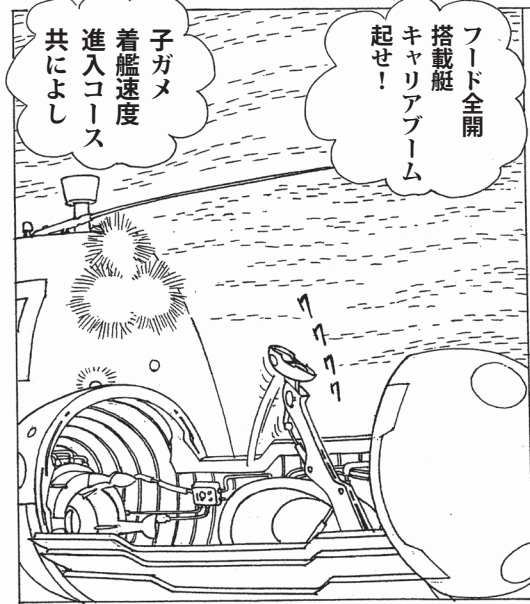
子ガメが
帰還します

収容作業に
掛かります

第一
収容船速に
とれ

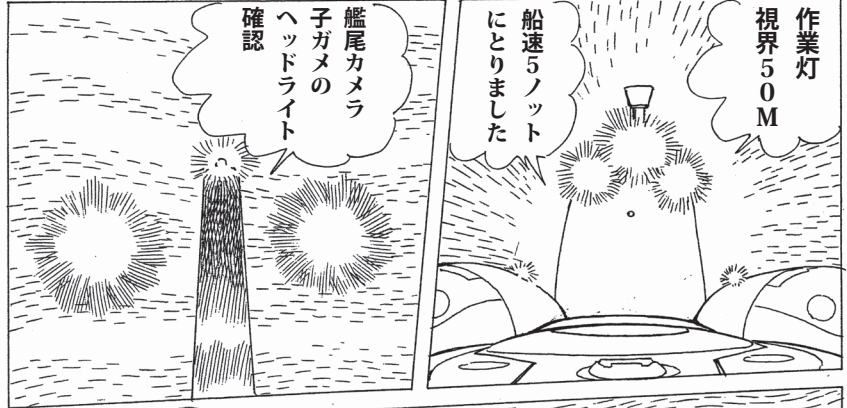


ハンガードア
全開しました
テールエンド
フード開き
ます



フード全開
搭載艇
キャリアブーム
起せ！

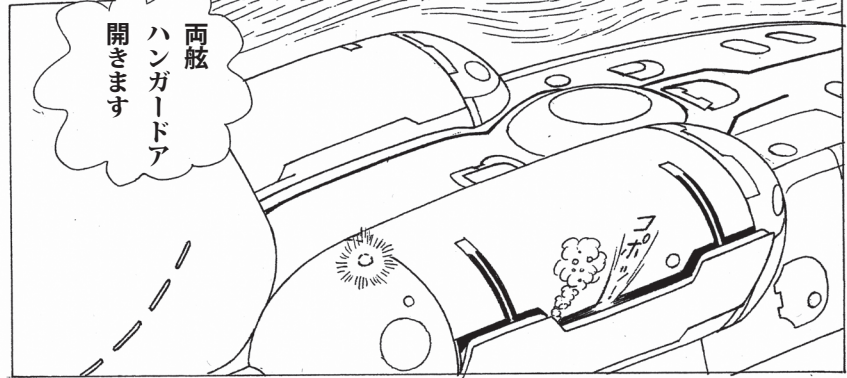
子ガメ
着艦速度
進入コース
共によし



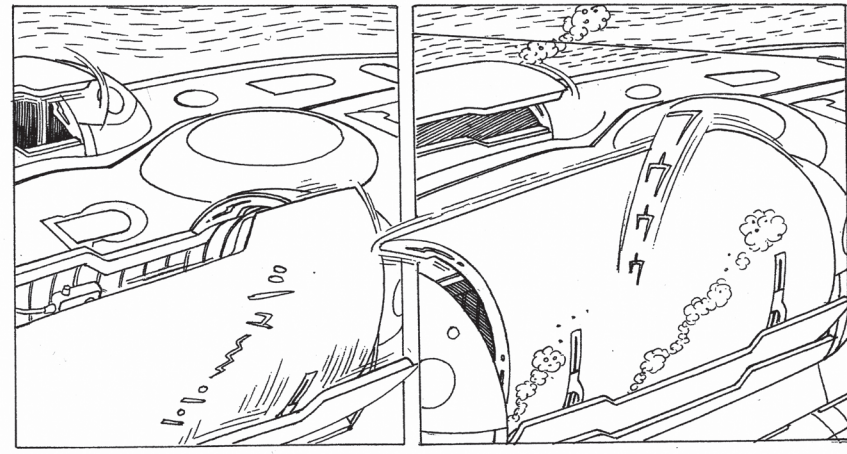
作業灯
視界50M

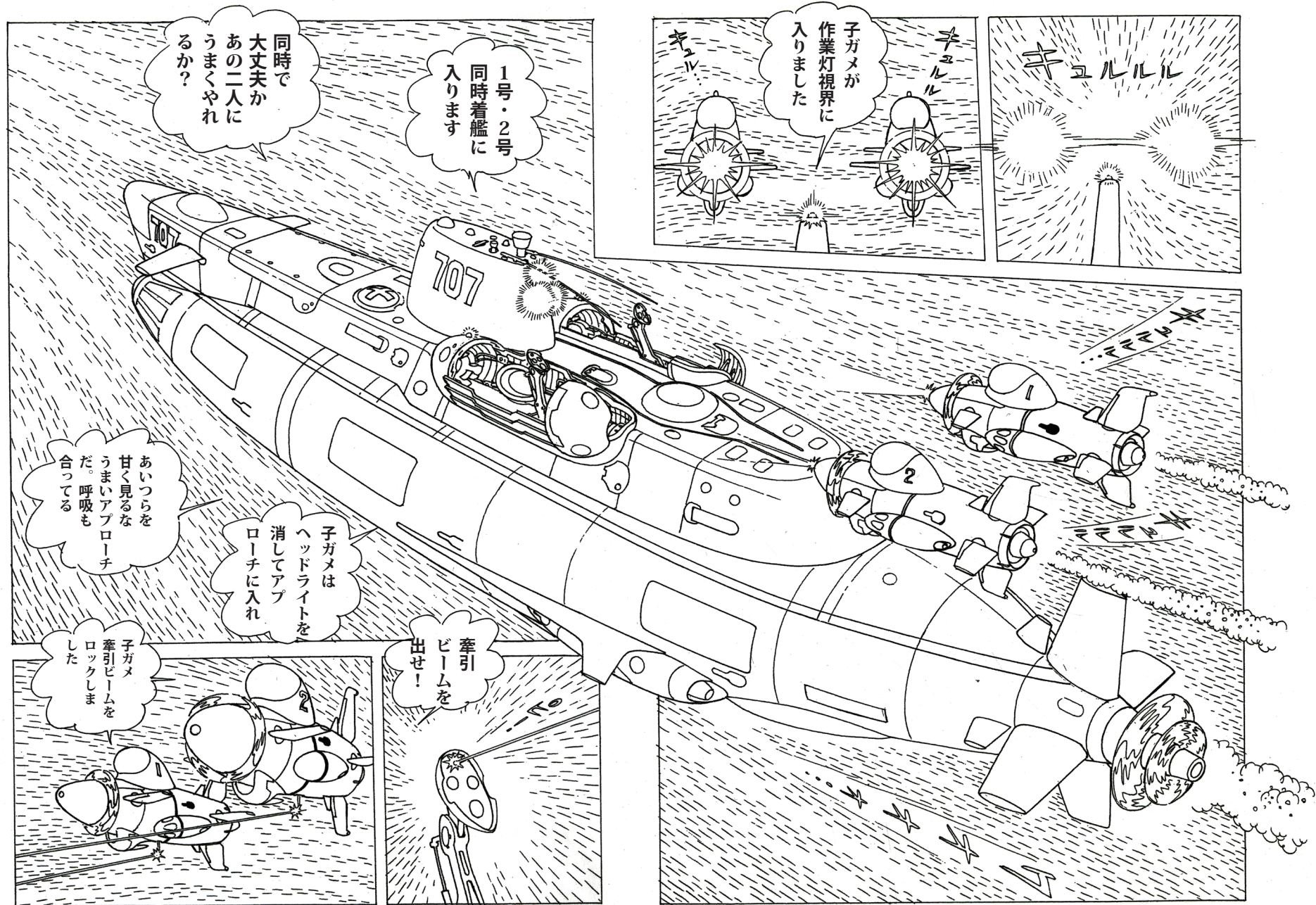
船速5ノット
にとりました

艦尾カメラ
子ガメの
ヘッドライト
確認



両舷
ハンガードア
開きます





同時に
大丈夫か
あの二人に
うまくやれ
るか？

1号・2号
同時着艦に
入ります

キュルル
キュルル
子ガメが
作業灯視界に
入りました

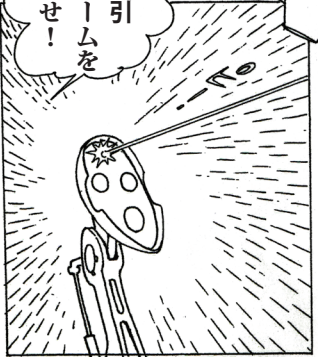
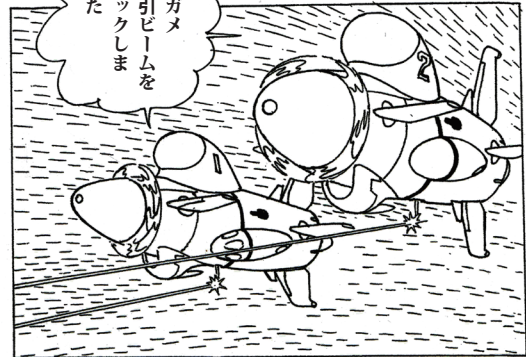
キュルルルル

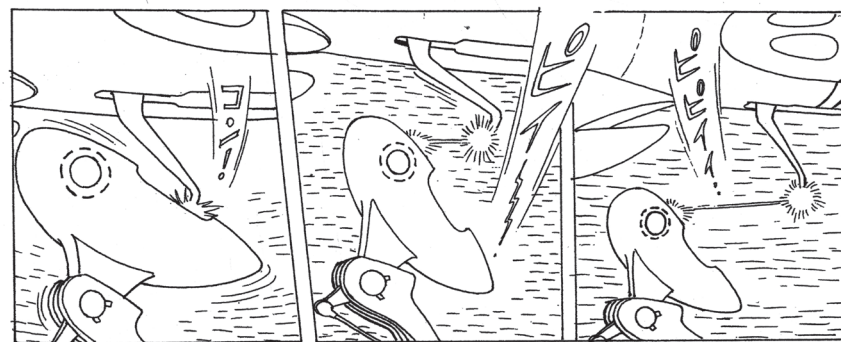
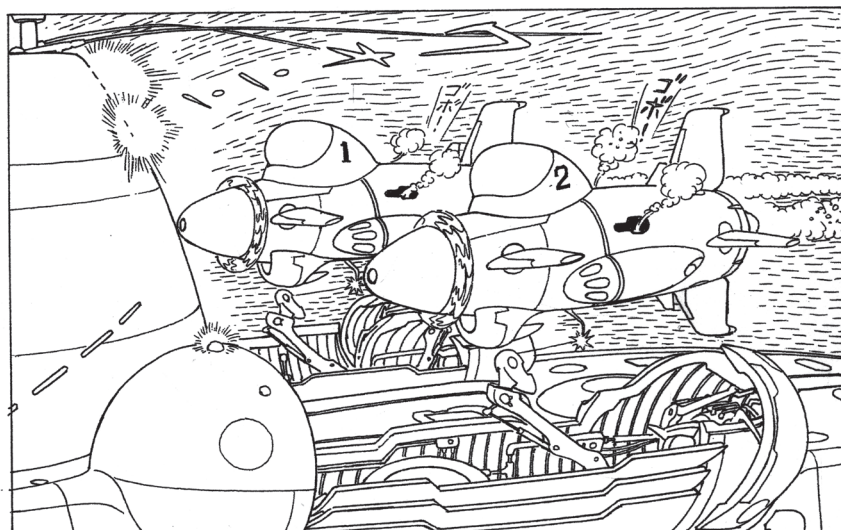
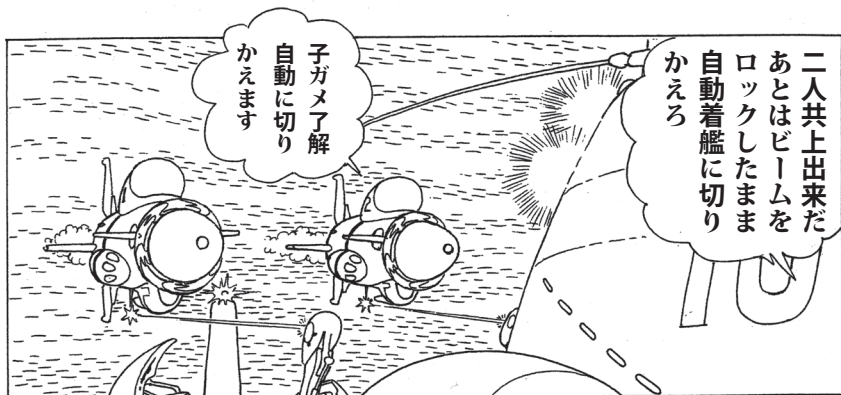
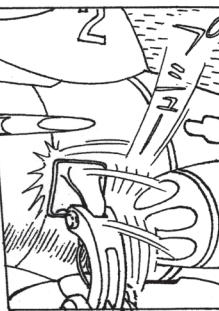
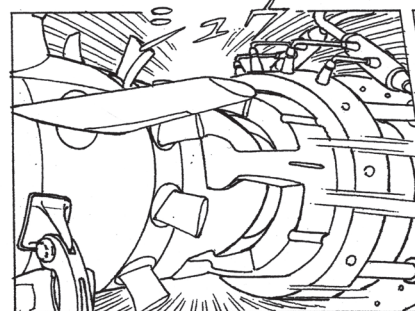
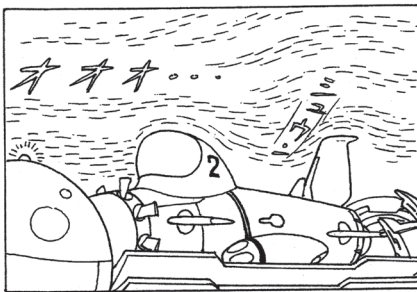
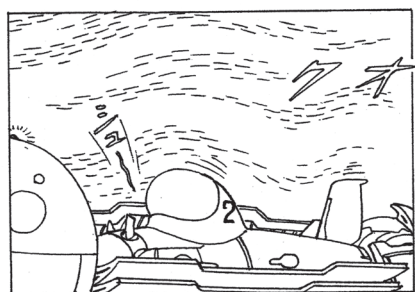
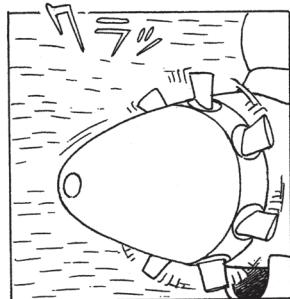
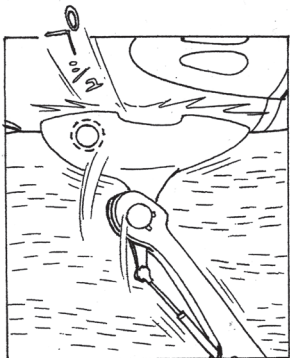
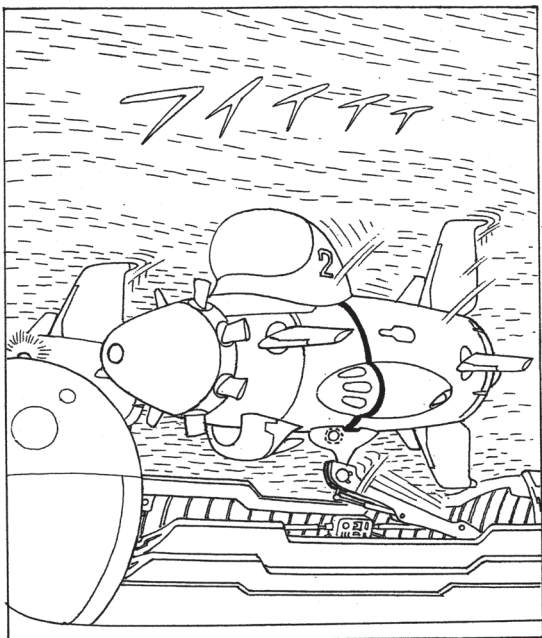
あいつらを
甘く見るな
うまいアブローチ
だ。呼吸も
合ってる

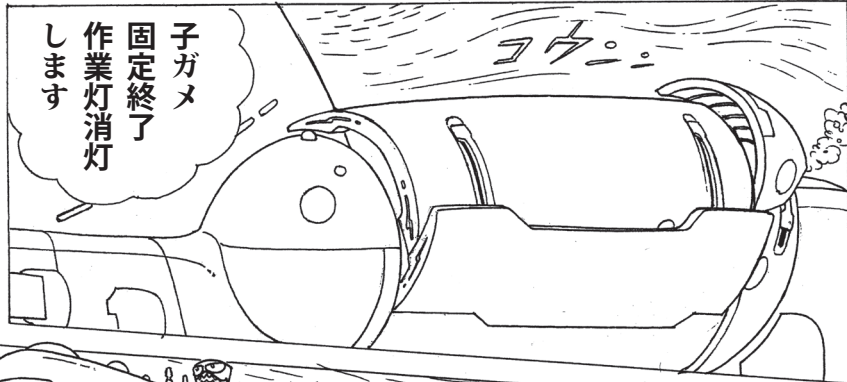
子ガメは
ヘッドライトを
消してアブ
ローチに入れ

牽引
ビームを
出せ！

子ガメ
牽引ビームを
ロックしま
した



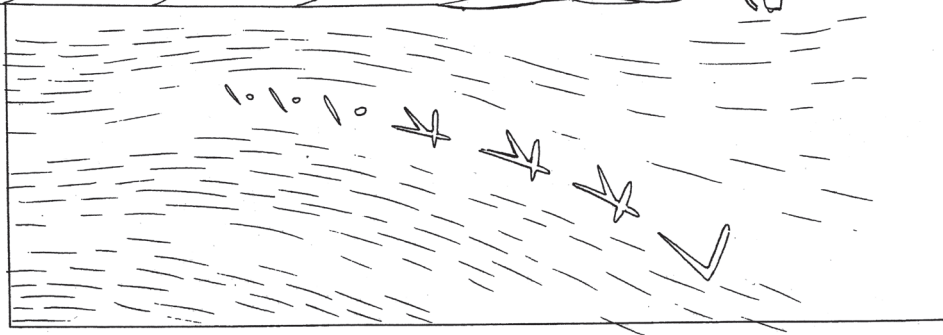
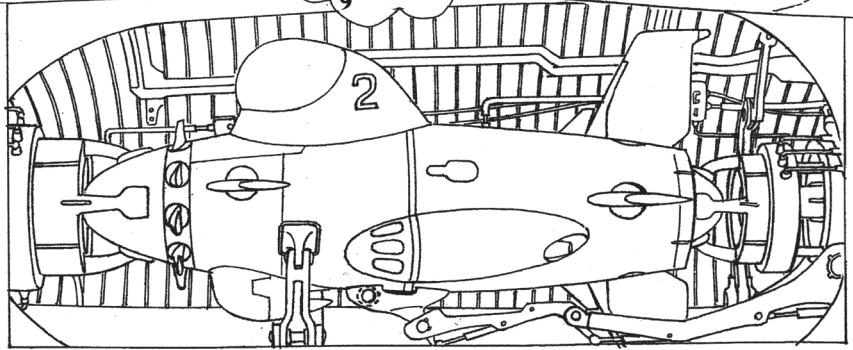
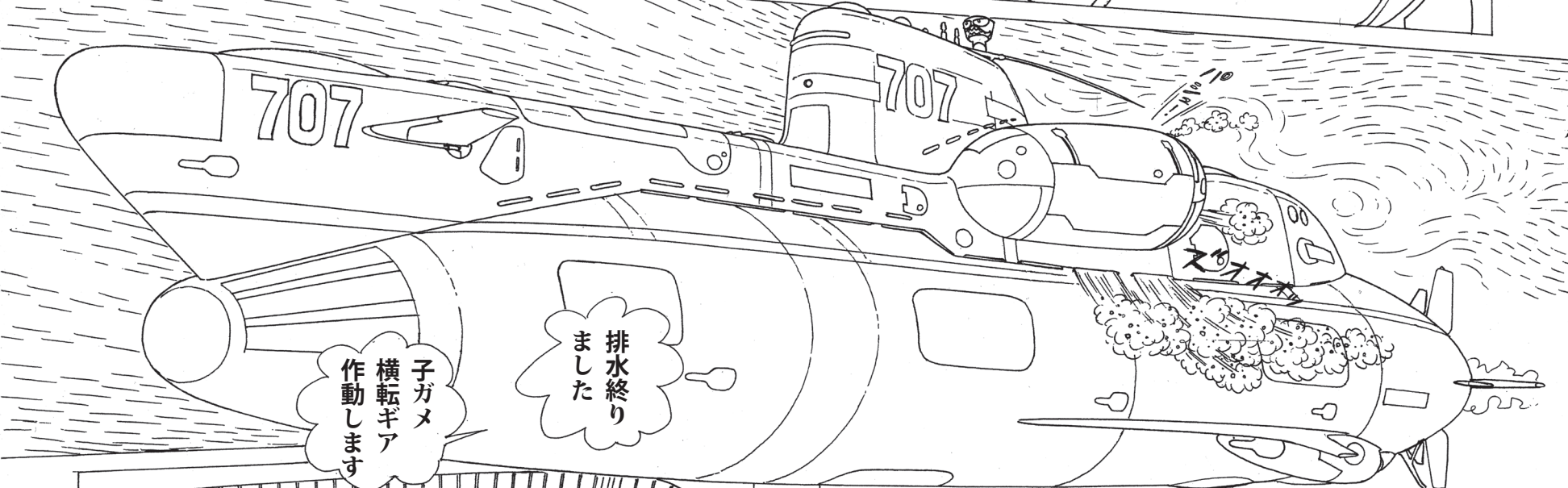


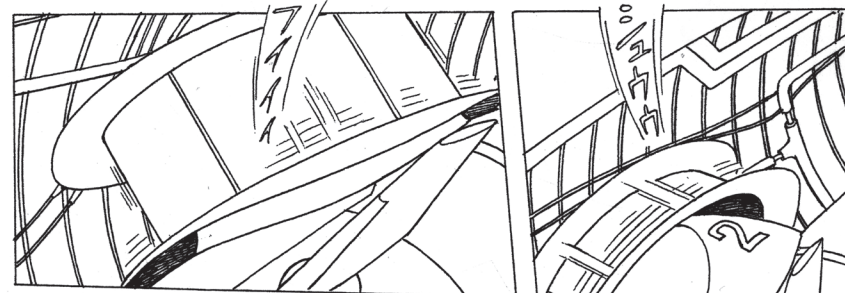
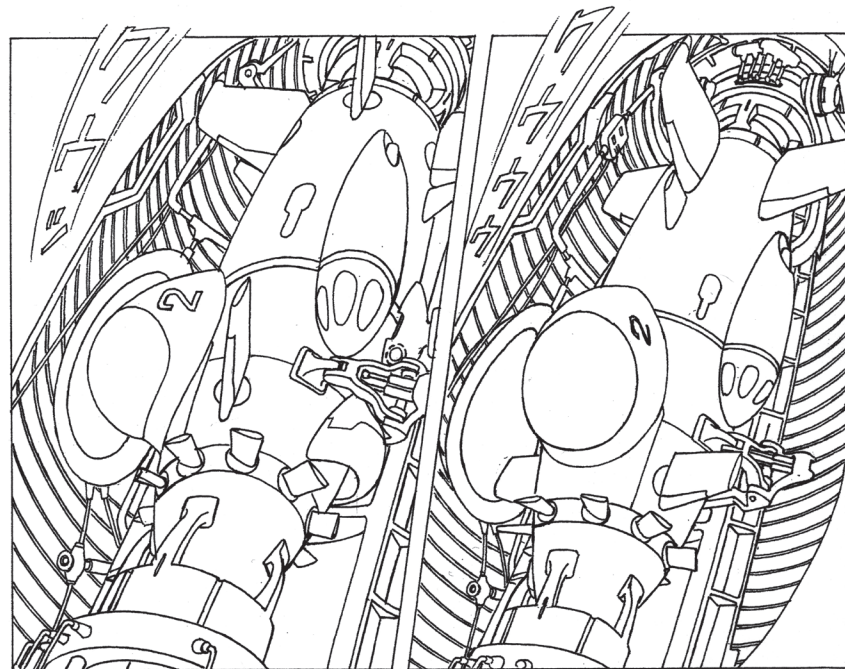
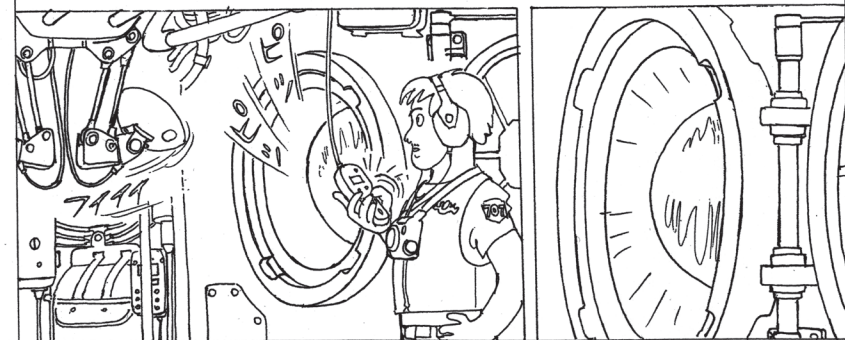
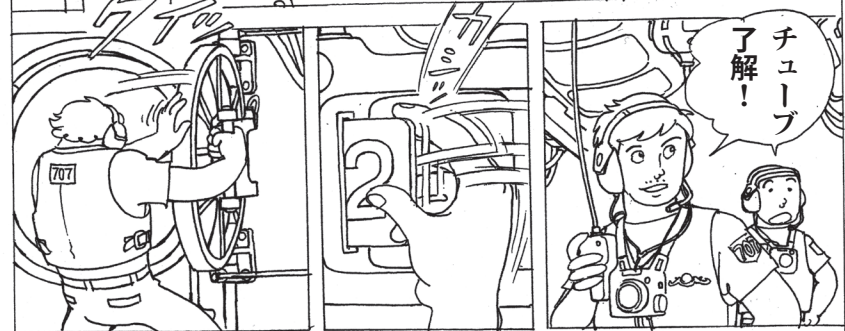
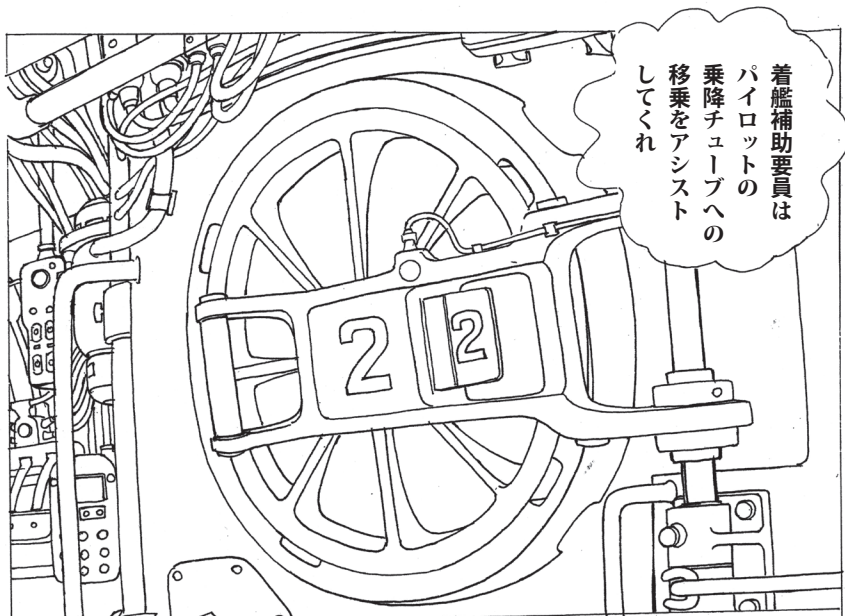


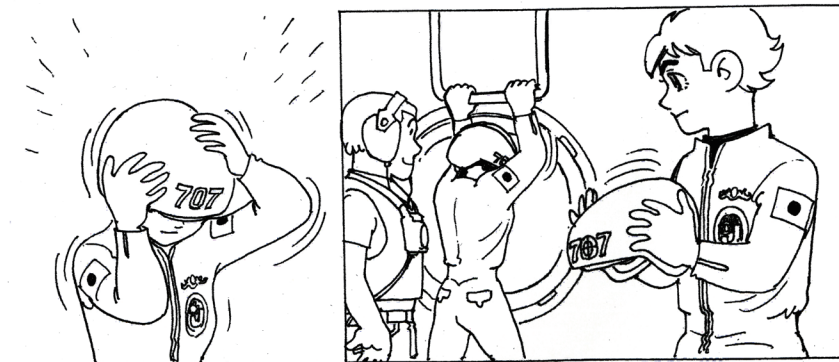
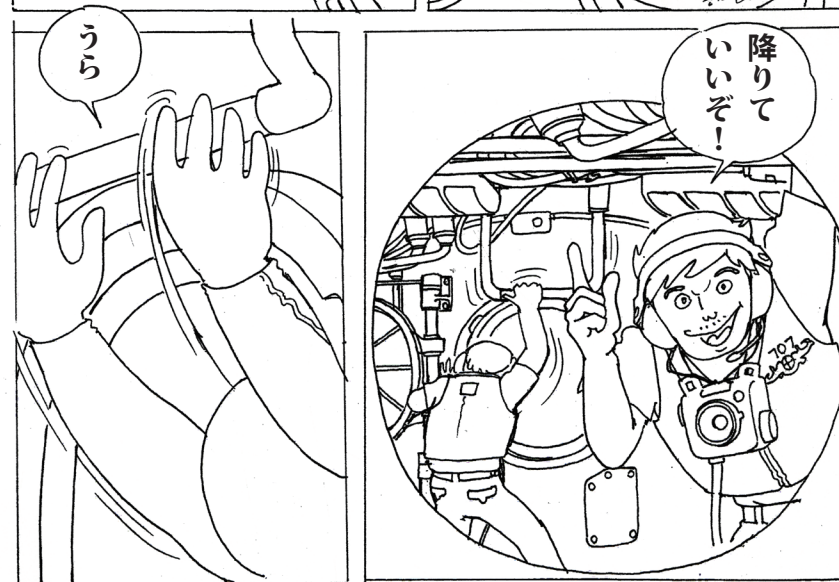
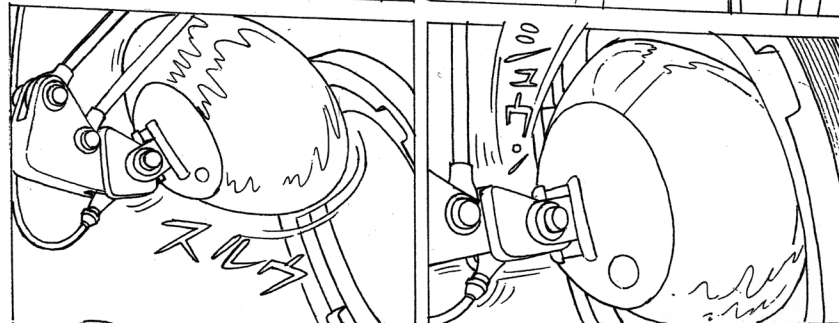
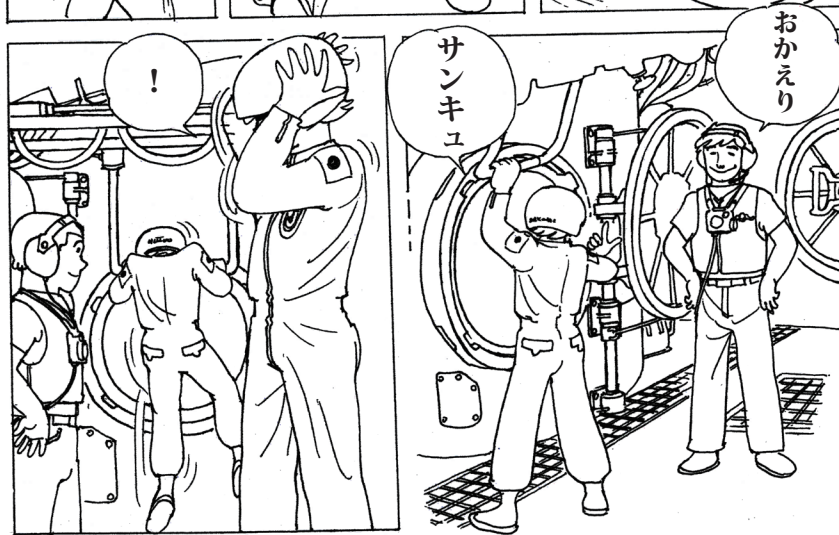
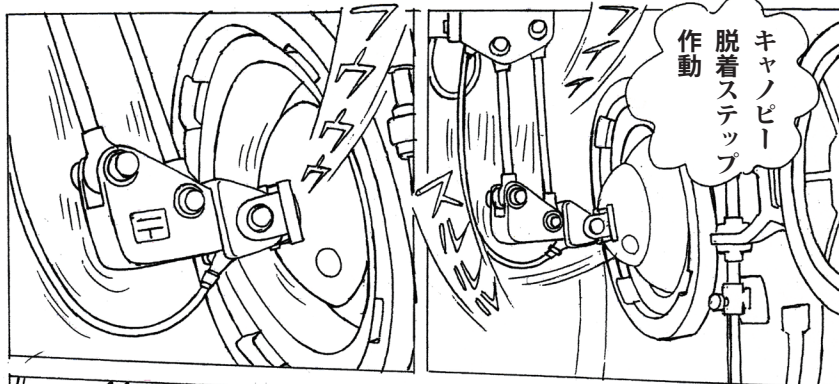
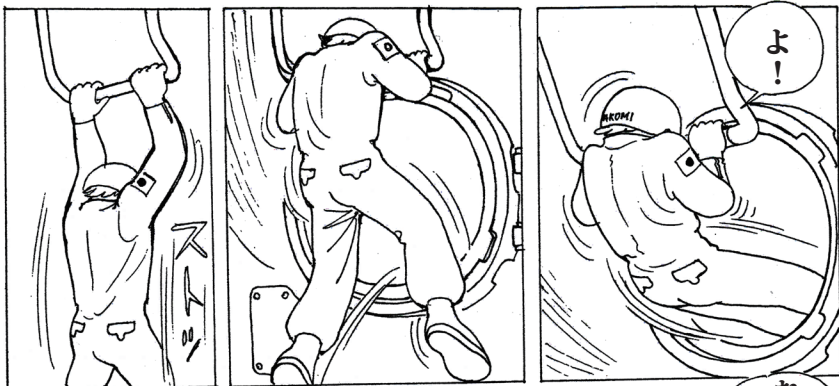
ハンガドア
閉じました

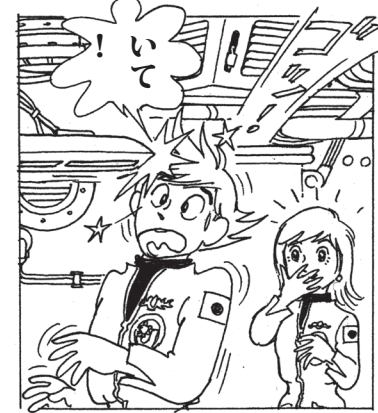
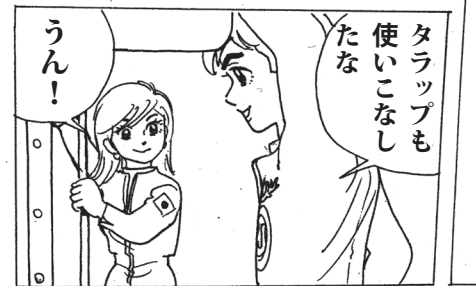
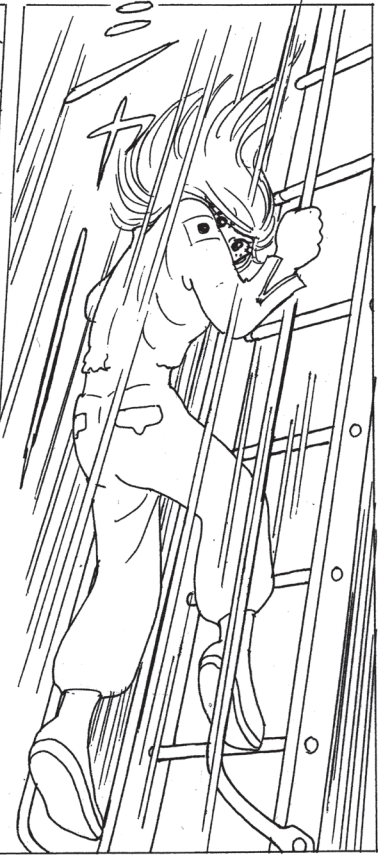
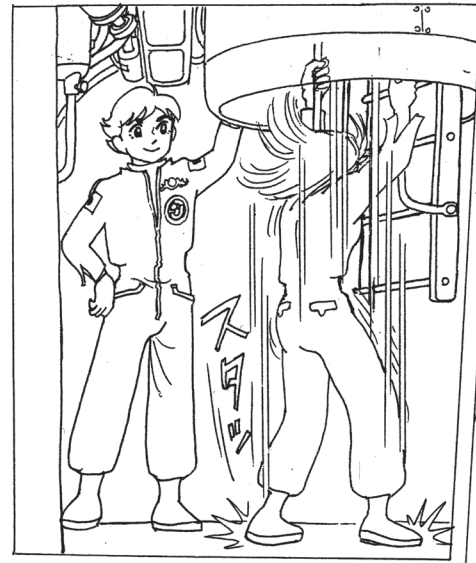
収容ステップ
プログラム
終了しました

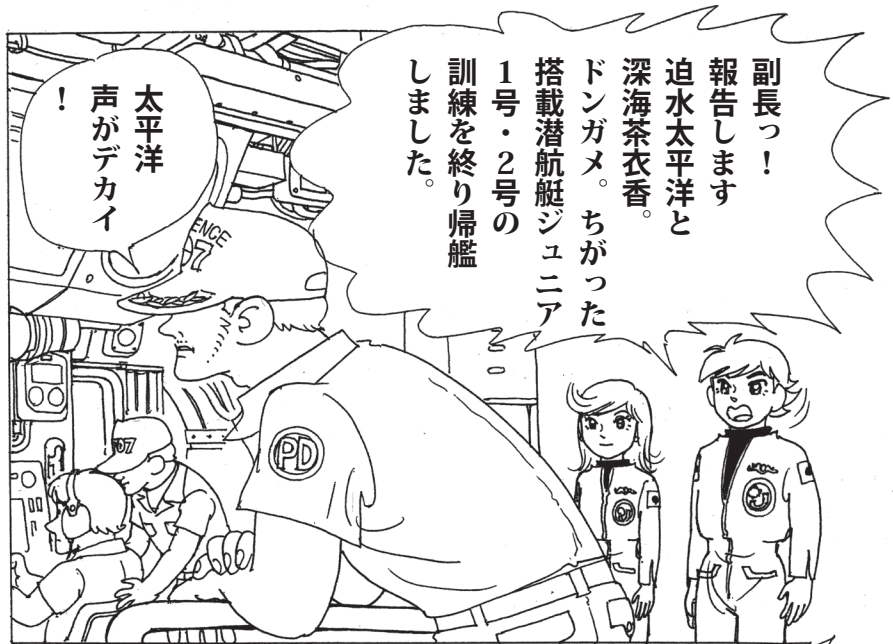
ハンガ
排水ポンプ
作動











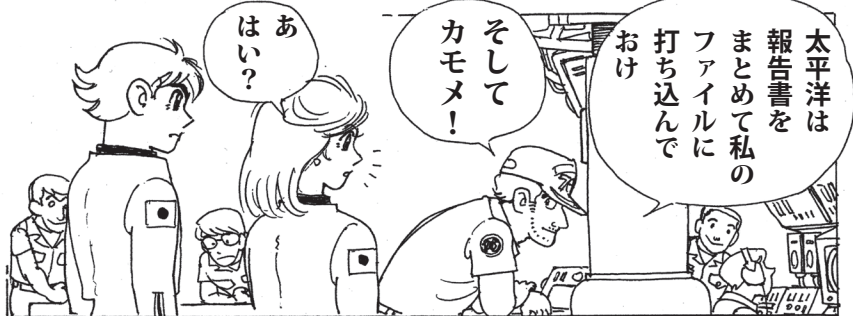
副長っ！
報告します
迫水太平洋と
深海茶衣香。
ドンガメ。ちがった
搭載潜航艇ジュニア
1号・2号の
訓練を終り帰艦
しました。

太平洋
声がデカイ
！



ふたりとも
帰艦作業は
いい出来
だった合格点
をやるぞ

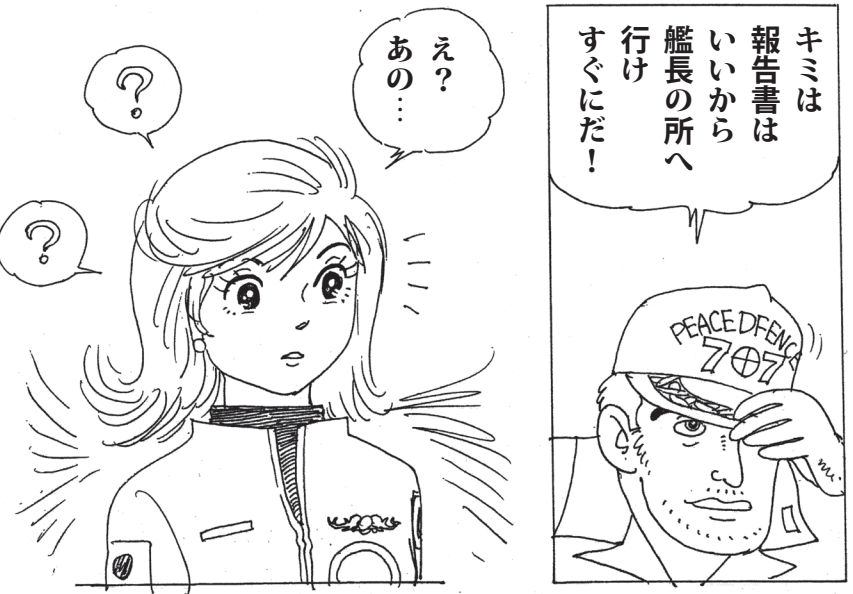
あた



太平洋は
報告書を
まとめて私の
ファイルに
打ち込んで
おけ

そして
カモメ！

あ
はい？



キミは
報告書は
いいから
艦長の所へ
行け
すぐにだ！

え？
あの…



深海の
ランデブーは
楽しかった
かな

あっはい
そりやもう
自一杯！

はいっ
すみませ
んでしたっ

けいっ
ね…

マダ！



よおし
針路よし
深度、速度
とも、
このまま
維持しろ

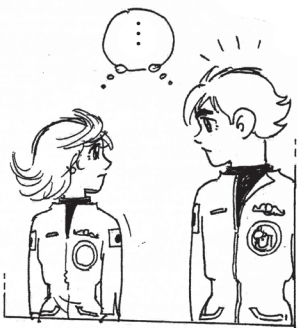


はいっ
副長!

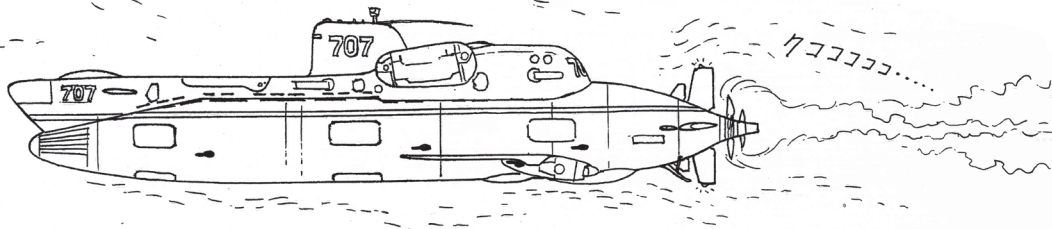


太平洋
お前さんは
さっさと
報告書に
掛れ

あの
副長



...



どおだ
この往き足で
死線を越える
のはいつになる

36時間後
には奴らの
領域に入ります



この地球の
海は例え
置一枚分だって
Uなんか
支配はさせん



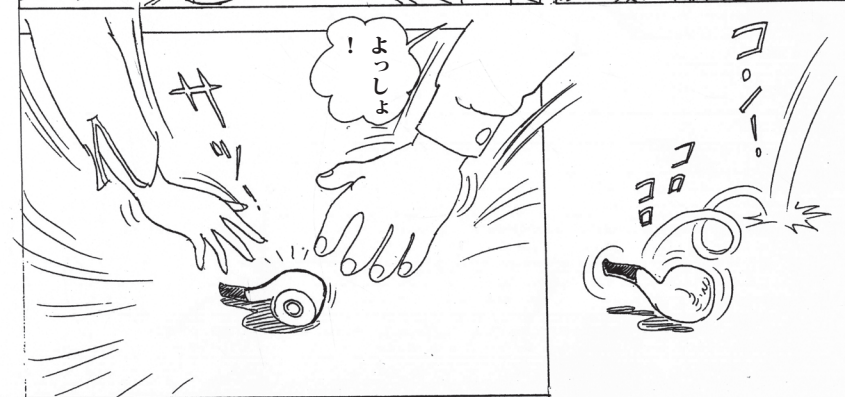
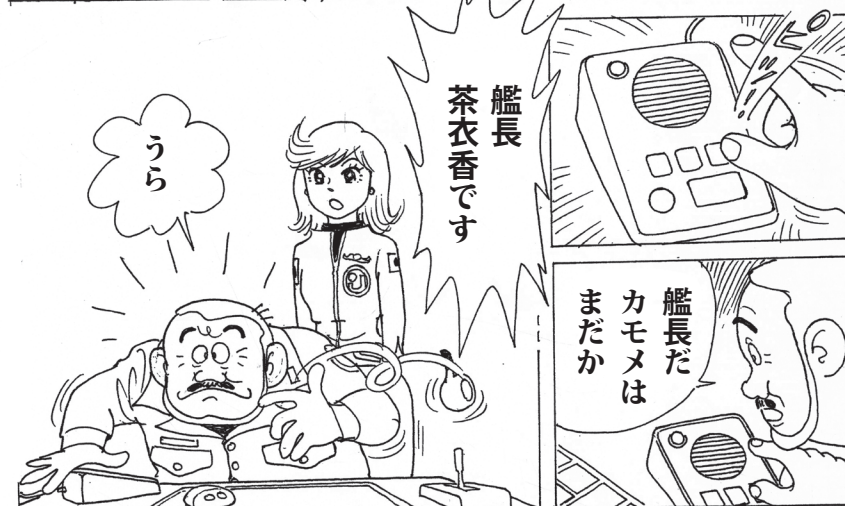
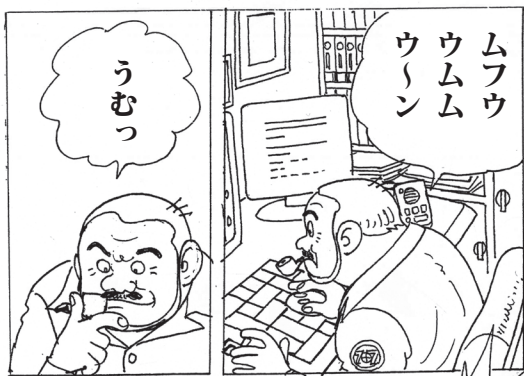
いえ
Uの支配
海域です

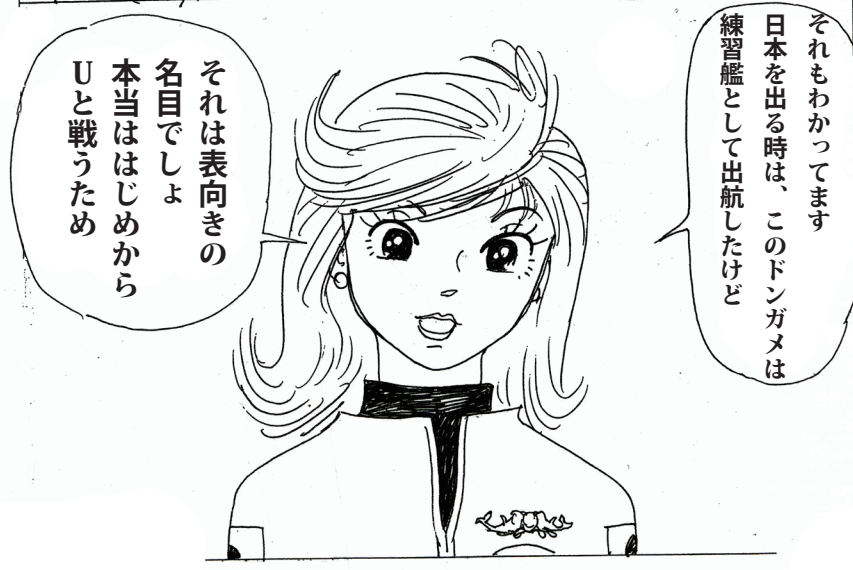
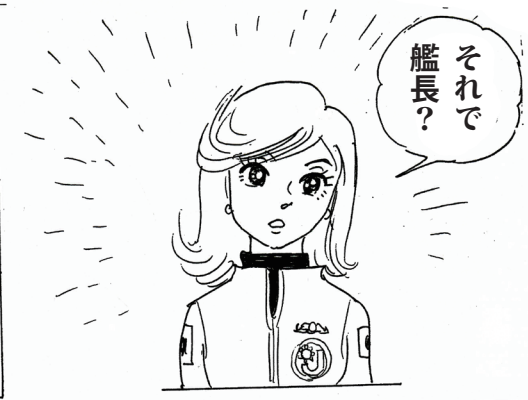
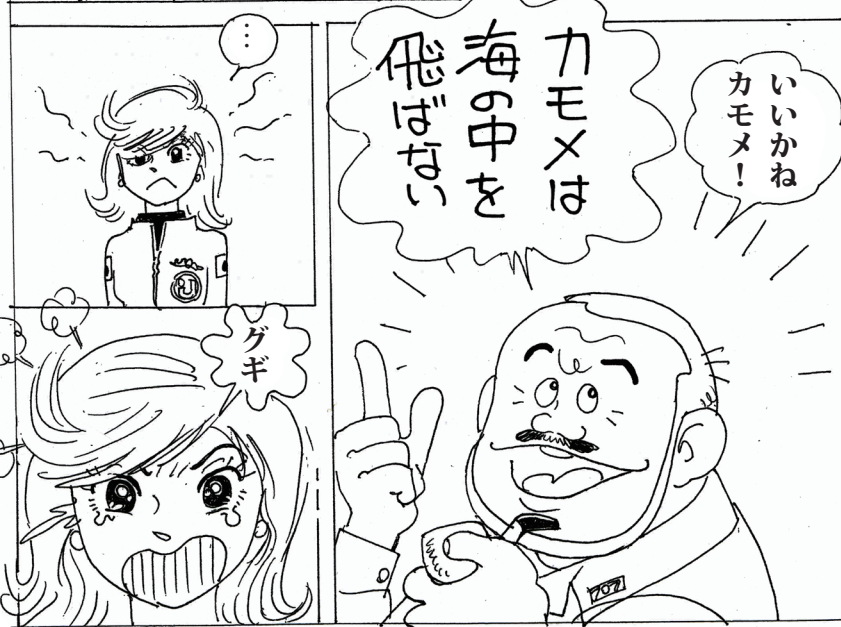
奴らの
領域だと

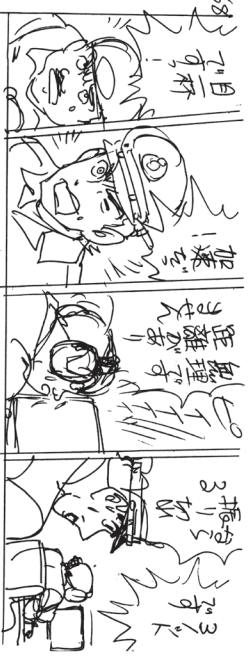
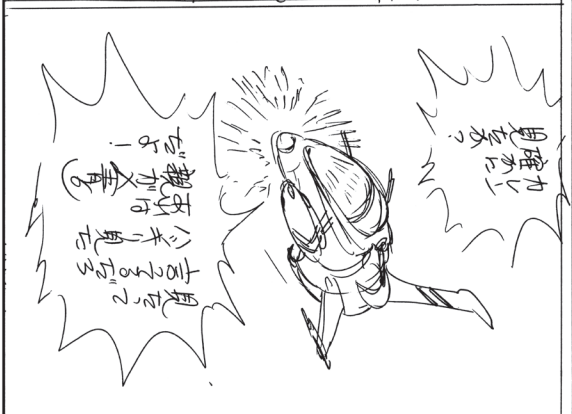


変だな

副長の態度が
いつもどちがう
カモメが何で
機長に?



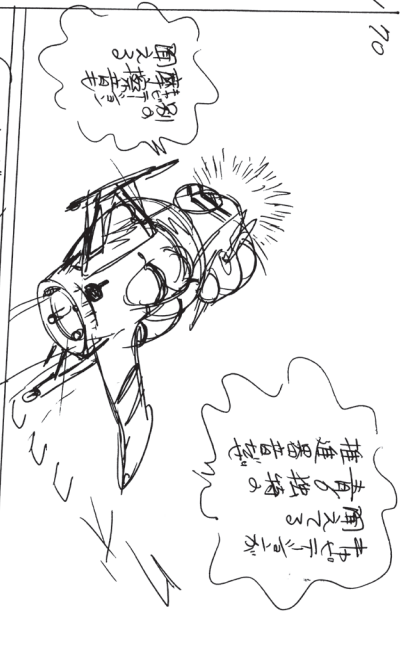




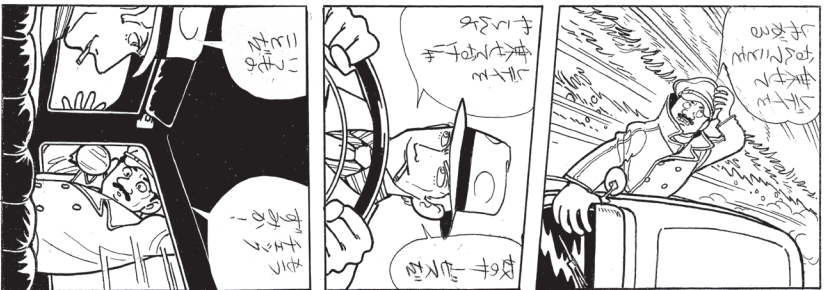
第4章

青の本作 侵略作戦

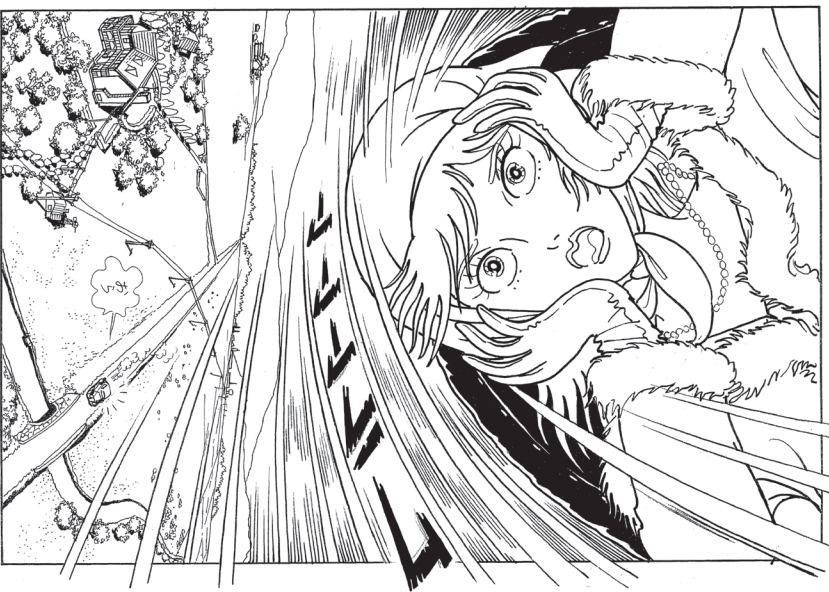
7/70



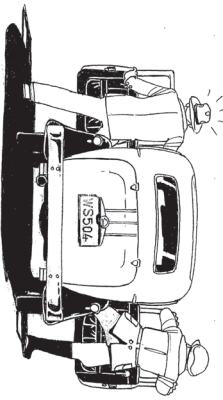
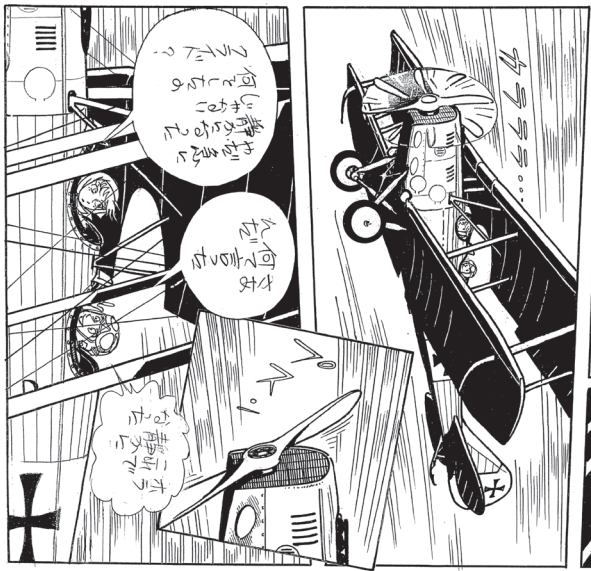
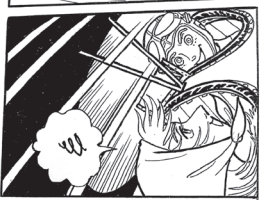
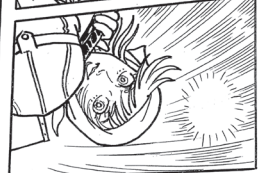
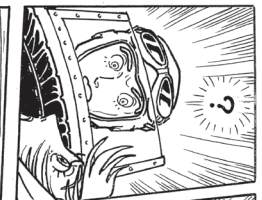
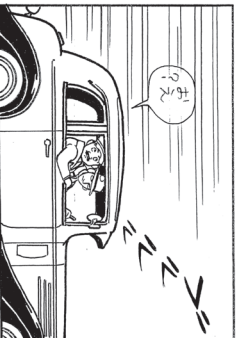
09/68



13



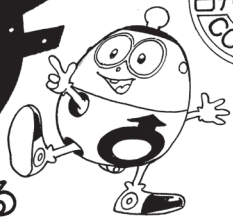
12



ニューダッチ

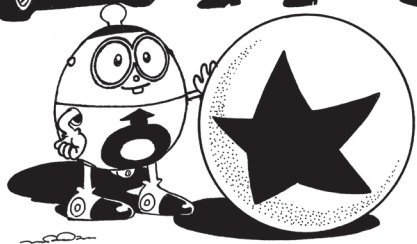
ロボダッチ

DAILY
日刊マンガ
COMICS



小沢さとる

1



小沢さとる
1×の
ダストBOX

ロボダッチ

2010年の未発表画稿
〈ニューダッチロボダッチ〉

構想半世紀「ヨシこれでいこう!」と意気込んで取り組んでみたものの結局未発表になったもの!

ロボダッチに余計なストーリーは要らないと思いついた画稿だ!

ロボダッチに厄介な物語は邪魔なだけ漸くたどり着いたロボダッチワールドに「ロボダッチワンダー」「ロボダッチツーワンダー」「ロボダッチスリーワンダー」の三つのステージを想定してボクはボタ山にダイヤを掘り当てた高揚感に乗って改めてロボダッチに挑んでいる。



